

10～12月期の概況

自動車・二輪がけん引も、飲食は厳しく二極化

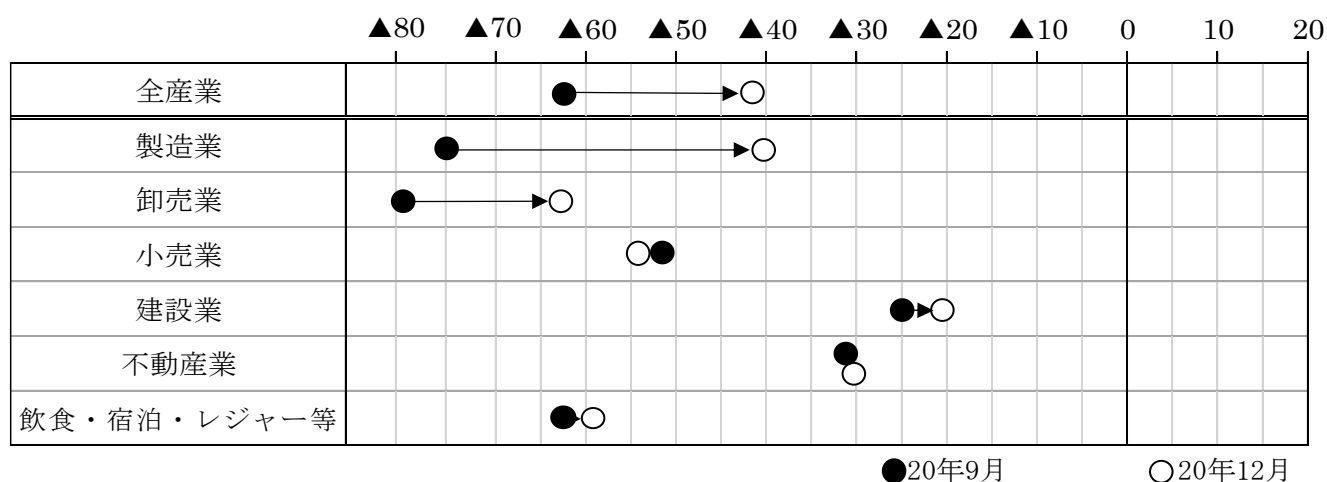
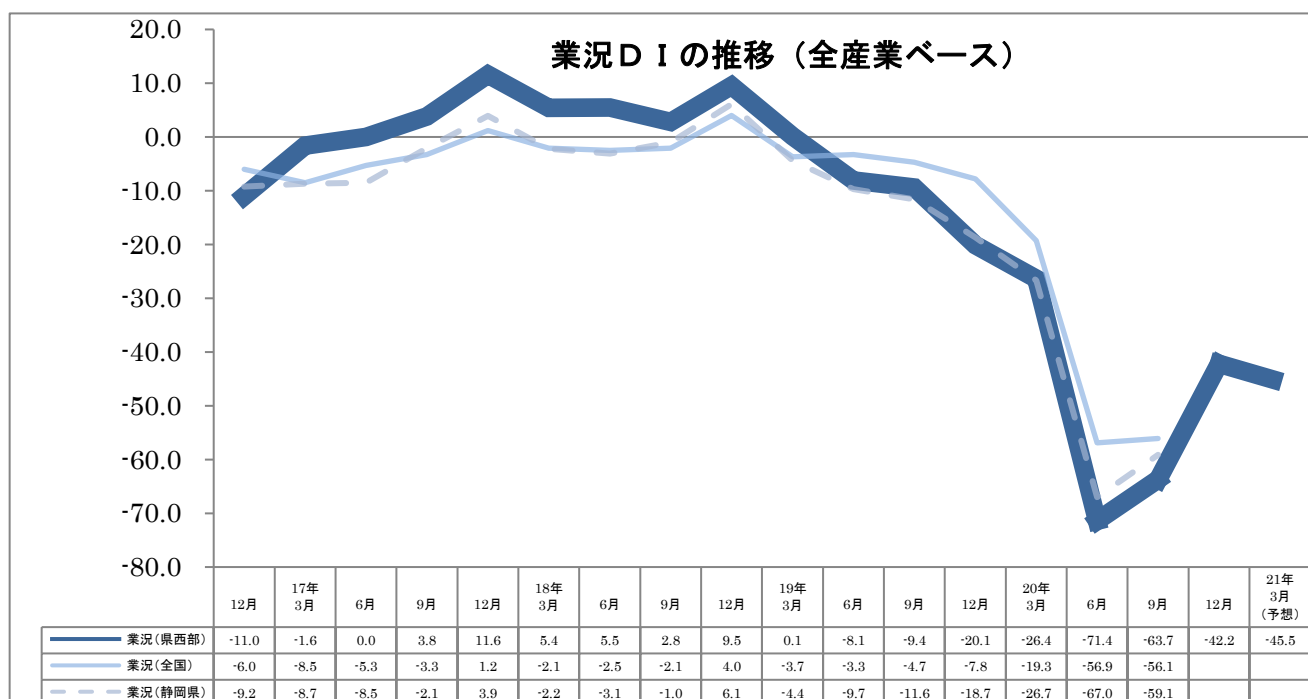
●10～12月期の景況

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－42.2 となり、2020年9月の前回調査（－63.7）と比べて21.5 点の改善となった。製造業を中心として、新型コロナウイルスの影響で4～6月に生産が落ち込んだが、7月以降自動車・二輪がけん引し、2四半期連続の改善となった。しかし、新型コロナウイルスの収束は不透明であり、特に飲食は厳しい状況が続いている。

産業別では小売が悪化。製造・卸売・建設・不動産・飲食レジャーが改善したが、すべてマイナス水準であった。

●1～3月期の景況予想

次回の業況DIは3.3点悪化の－45.5を見込む。産業別では、小売は改善を見込むが、不動産・飲食レジャーは横ばい、製造・卸売・建設は悪化を見込む。



自動車・二輪の改善に力強さがみられる

●10～12月期の景況

製造業全般の業況 DI は 35.4 ㊦改善の -40.1 となった。二輪車・自動車・機械・楽器とほとんどの製造業が改善しているが、特に自動車・二輪の改善に力強さがみられる。

また、売上額 DI は 32.6 ㊦の改善、受注残 DI は 29.7 ㊦の改善、収益 DI は 30.8 ㊦の改善と、主要 3 項目は大幅な改善となった。

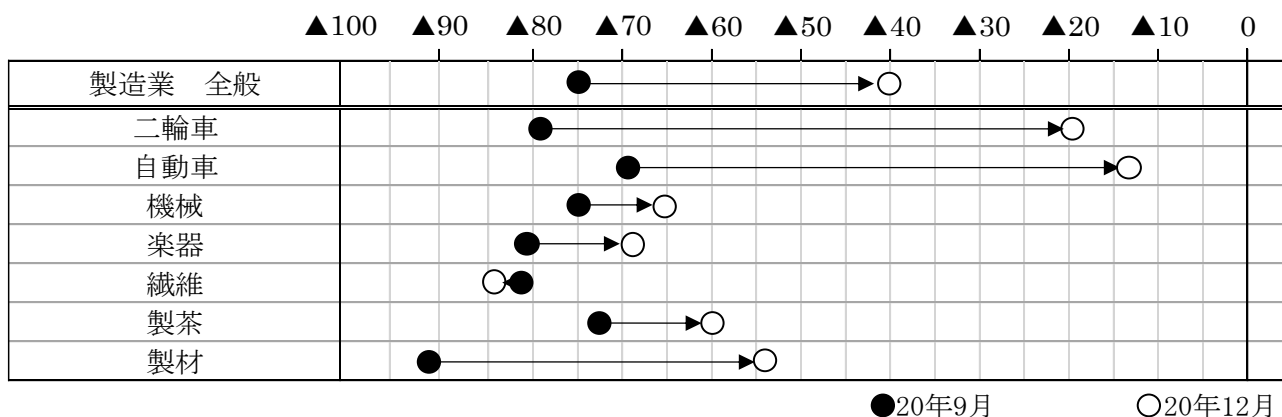
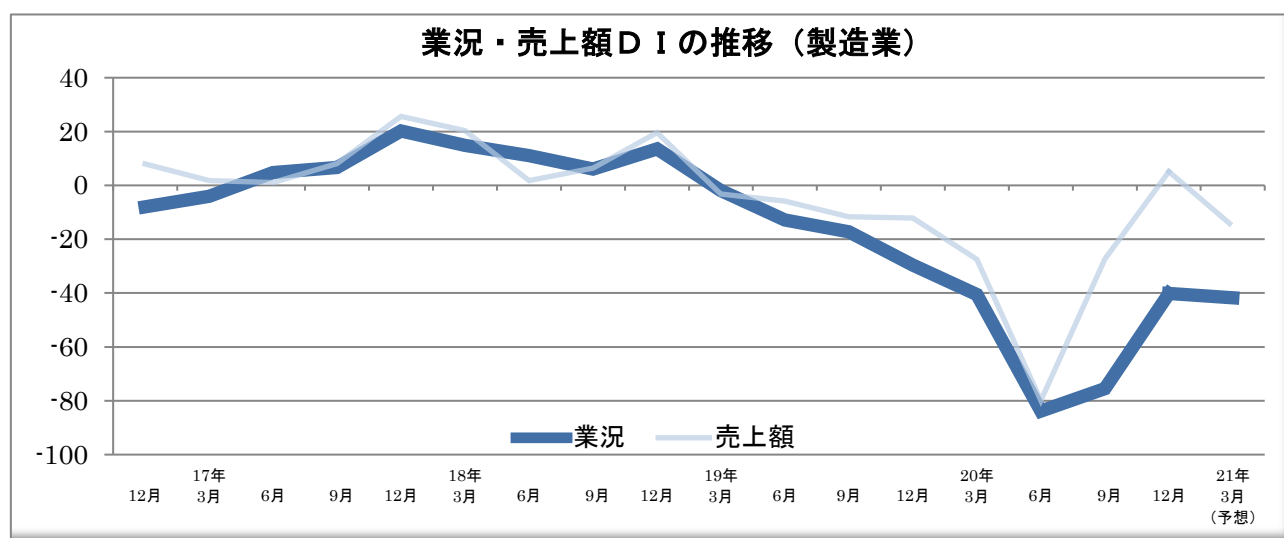
業種別では、二輪車・自動車・機械・楽器・製茶・製材が改善したが、繊維は悪化した。

●1～3月期の景況予想

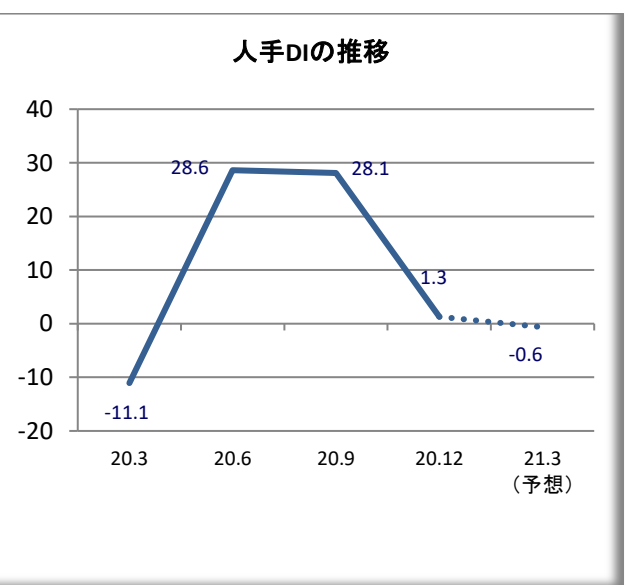
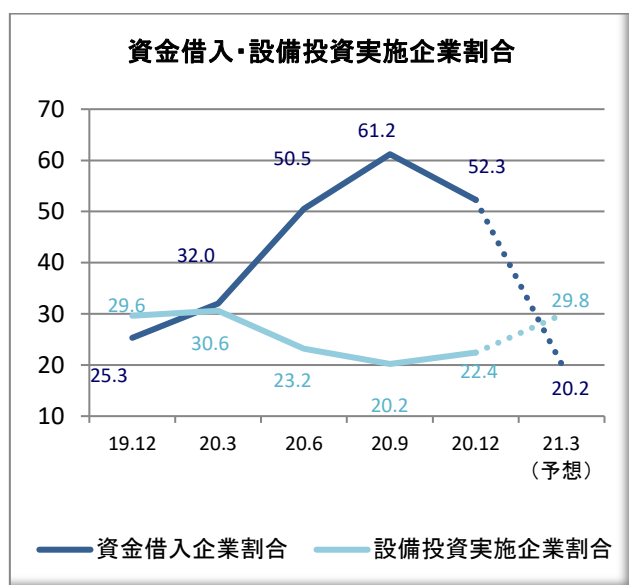
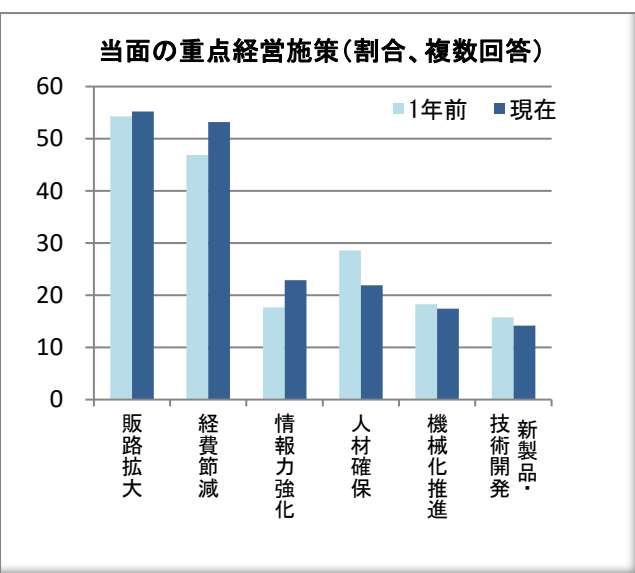
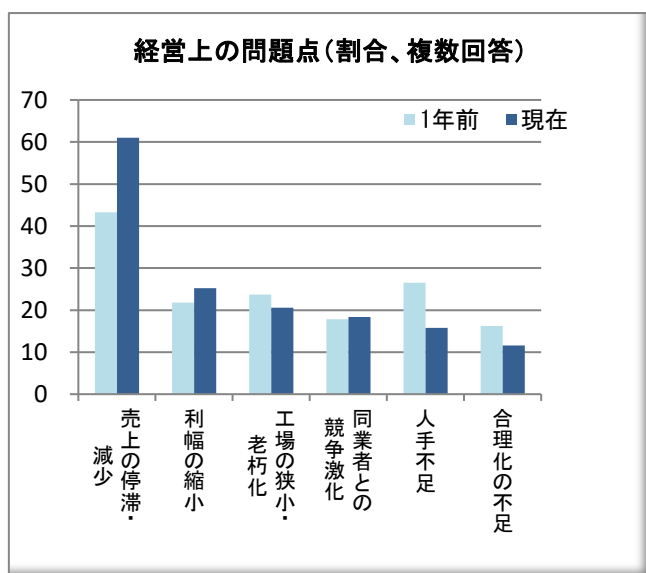
次回の業況 DI は 1.6 ㊦悪化の -41.7 となる。売上額 DI は 20.4 ㊦の悪化、受注残 DI は 14.9 ㊦の悪化、収益 DI は 22.9 ㊦の悪化を見込む。

●自動車・二輪がけん引

4～6 月は新型コロナウイルスの感染拡大により、生産が落ち込んだが、7 月からは回復の兆しがみられた。自動車は中国市場の復調もあり、10 月以降は本格的に回復し、二輪とともに製造業全般をけん引した。



| 製造業 全般 | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | 11.1 | 6.1 | 13.5 | -1.9 | -12.8 | -17.3 | -29.6 | -40.5 | -83.8 | -75.5 | -40.1 | -41.7 |
| 売上額 | 増加-減少 | 1.8 | 6.4 | 19.6 | -3.2 | -5.8 | -11.6 | -12.1 | -27.4 | -79.9 | -27.4 | 5.2 | -15.2 |
| 受注残 | 増加-減少 | 6.6 | 1.2 | 12.6 | 0.3 | -7.9 | -11.9 | -10.3 | -20.2 | -78.2 | -29.7 | 0.0 | -14.9 |
| 収益 | 増加-減少 | -3.0 | -0.6 | 12.0 | -7.9 | -10.4 | -18.1 | -14.3 | -29.0 | -80.2 | -32.1 | -1.3 | -24.2 |
| 販売価格 | 上昇-下降 | 1.2 | 1.5 | 4.9 | 3.2 | 4.6 | 0.0 | -1.9 | -2.8 | -11.2 | -7.3 | -8.4 | -8.8 |
| 原材料価格 | 上昇-下降 | 30.7 | 25.6 | 30.4 | 21.8 | 22.4 | 15.0 | 17.8 | 14.4 | -0.3 | -0.3 | 5.5 | 5.8 |
| 原材料在庫 | 過剰-不足 | 7.2 | 7.9 | 8.9 | 8.9 | 9.5 | 12.9 | 7.2 | 7.6 | 17.3 | 15.8 | 9.8 | 4.6 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | 0.9 | -2.7 | -1.5 | -4.1 | -5.5 | -9.1 | -15.6 | -16.1 | -41.9 | -23.3 | -8.7 | -12.6 |
| 残業時間 | 増加-減少 | 10.2 | 7.4 | 10.5 | 1.6 | -8.3 | -17.2 | -19.3 | -22.7 | -62.4 | -58.4 | -25.2 | -24.3 |
| 人手 | 過剰-不足 | -39.9 | -30.8 | -33.5 | -23.2 | -20.5 | -20.3 | -19.9 | -11.1 | 28.6 | 28.1 | 1.3 | -0.6 |
| 設備 | 過剰-不足 | -18.9 | -21.3 | -19.1 | -15.8 | -15.2 | -14.1 | -12.7 | -6.3 | 7.9 | 3.8 | -6.8 | -6.8 |



生産は前年比マイナスも、受注は回復、業況DIは2四半期連続の改善

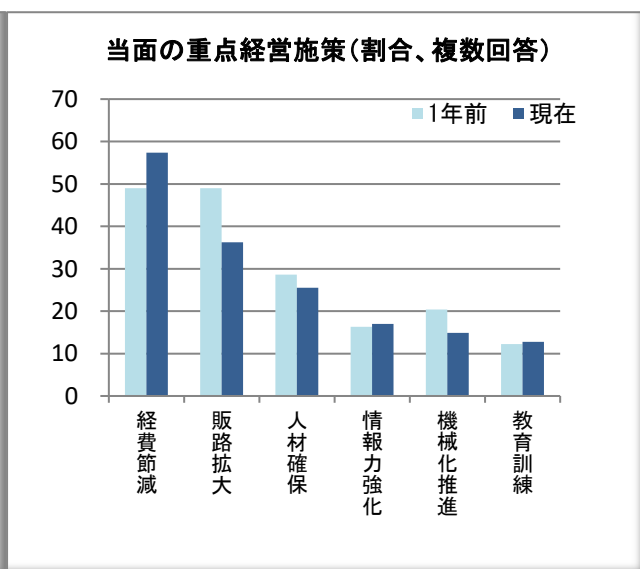
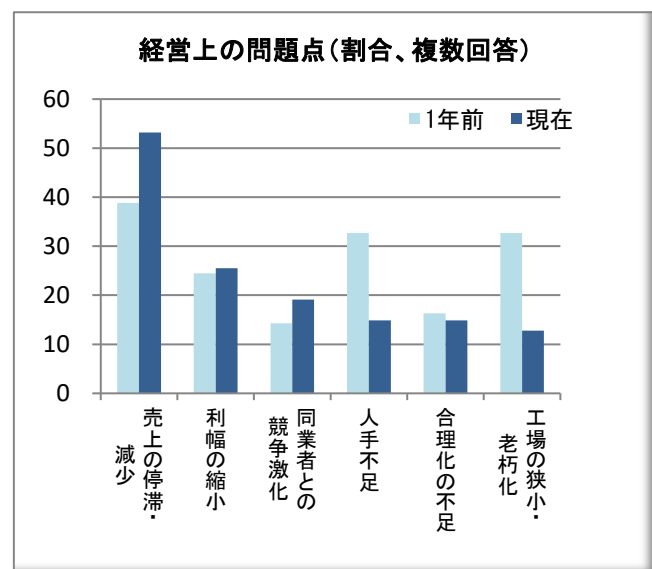
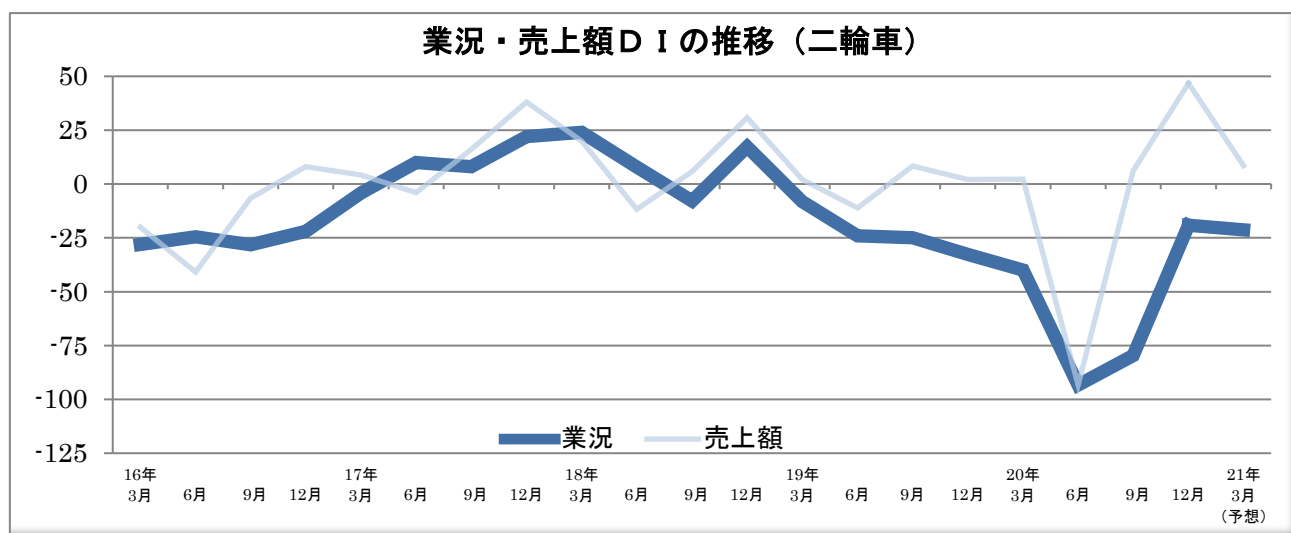
●10～12月期の景況

業況DIは60.5㊦大幅改善の-19.1となり2四半期連続の改善となった。また、売上額DIは40.7㊦の改善、受注残DIは40.4㊦の改善、収益DIは38.2㊦の改善と、すべてプラス水準であった。

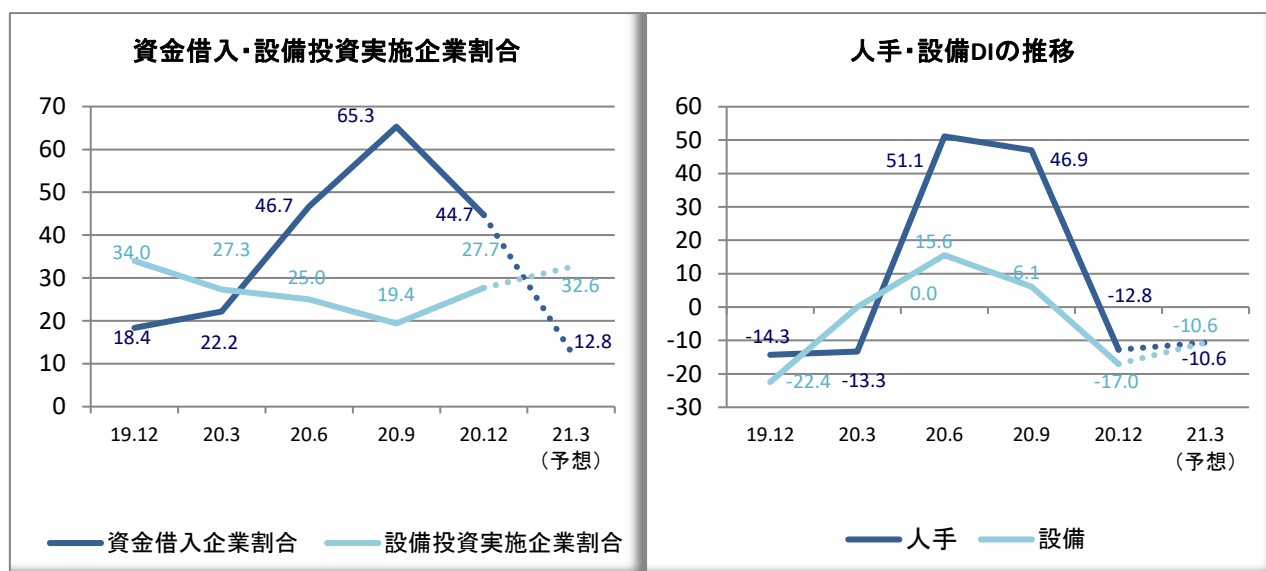
調査員のコメントをみると、受注が増加傾向にある、フル操業など受注が回復していることがうかがえる。また、業況の良い先と悪い先に二極化しているとのコメントもあった。

●1～3月期の景況予想

次回の業況DIは、2.2㊦悪化の-21.3となる。売上額DIは38.3㊦の悪化、受注残DIは34.0㊦の悪化、収益DIは42.6㊦の悪化を見込む。前回コメントと同様、「回復」の文字が多くみられたが、年明け以降については先が見通せない状況である。



| 二輪車 | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | 7.8 | -7.8 | 17.3 | -8.2 | -24.1 | -25.0 | -32.7 | -40.0 | -93.3 | -79.6 | -19.1 | -21.3 |
| 売上額 | 増加-減少 | -11.8 | 5.9 | 30.8 | 2.0 | -11.1 | 8.3 | 2.0 | 2.2 | -93.3 | 6.1 | 46.8 | 8.5 |
| 受注残 | 増加-減少 | -3.9 | 3.9 | 13.5 | 2.0 | -11.1 | -6.3 | -4.1 | -4.4 | -91.1 | 0.0 | 40.4 | 6.4 |
| 収益 | 増加-減少 | -13.7 | -7.8 | 11.5 | -8.2 | -11.1 | -4.2 | -8.2 | -11.1 | -91.1 | -2.0 | 36.2 | -6.4 |
| 販売価格 | 上昇-下降 | -5.9 | 0.0 | 5.9 | 8.2 | 5.7 | 6.4 | 0.0 | 0.0 | -11.1 | 0.0 | 0.0 | -2.1 |
| 原材料価格 | 上昇-下降 | 15.7 | 25.5 | 25.0 | 12.2 | 16.7 | 17.0 | 20.8 | 6.8 | -4.5 | 6.1 | 8.7 | 6.5 |
| 原材料在庫 | 過剰-不足 | 0.0 | 5.9 | 11.5 | 2.0 | 7.4 | 10.6 | 10.4 | 2.3 | 22.7 | 8.2 | 15.2 | 2.2 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | 5.9 | 2.0 | -3.8 | -4.1 | -3.7 | -2.1 | -4.1 | -11.4 | -34.1 | -22.4 | 2.1 | -8.5 |
| 残業時間 | 増加-減少 | 3.9 | 5.9 | 19.2 | 4.1 | -7.5 | -16.7 | -18.4 | -22.2 | -71.1 | -75.5 | -2.1 | -8.5 |
| 人手 | 過剰-不足 | -35.3 | -17.6 | -23.1 | -10.2 | -13.0 | -14.6 | -14.3 | -13.3 | 51.1 | 46.9 | -12.8 | -10.6 |
| 設備 | 過剰-不足 | -15.7 | -17.6 | -15.4 | -14.3 | -7.4 | -10.4 | -22.4 | 0.0 | 15.6 | 6.1 | -17.0 | -10.6 |



調査員のコメントより

- ✓ 新型コロナウイルスの影響により、売上が大きく減少したが、現状では回復しつつある。(同意見多数)
- ✓ 親会社からの受注は、現状安定している。(同意見複数)
- ✓ 船外機部品の受注が増加している。
- ✓ 一時期、金曜休みや時短を行っていたが、最近はフル操業となっている。(同意見複数)
- ✓ 助成金を活用し、経費を抑えながら経営をしている。
- ✓ 生産力が回復傾向にあるが、4~6月生産分を現在生産している状態であり、年間売上は減少となる。
- ✓ 二輪の生産は前年比マイナスであり、現在も生産調整がある。
- ✓ 先が見通せない状況であり、厳しい経営環境となっている。(同意見複数)
- ✓ 外国人の採用による内製化を図っていたが、コロナ禍においては過剰人員となっている。
- ✓ 年明け以降の予定はまったく立っていない。
- ✓ 新型コロナウイルスの第3波の影響も出始めており、苦戦を強いられている。

景況感が大幅に回復しており、業況DIはマイナス10台に改善

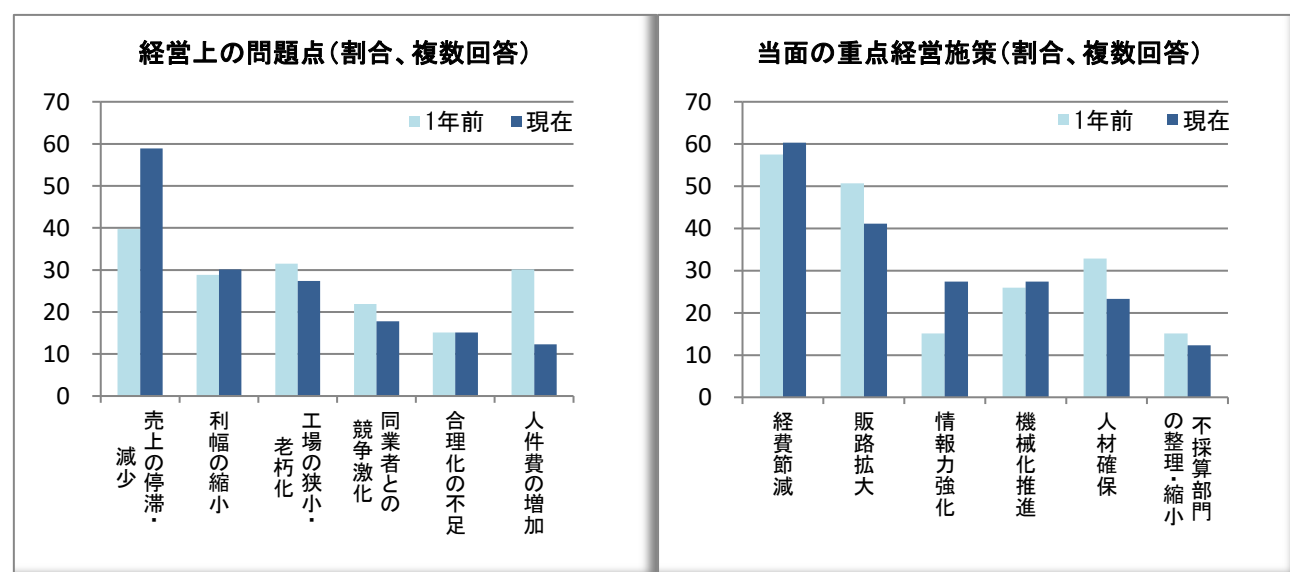
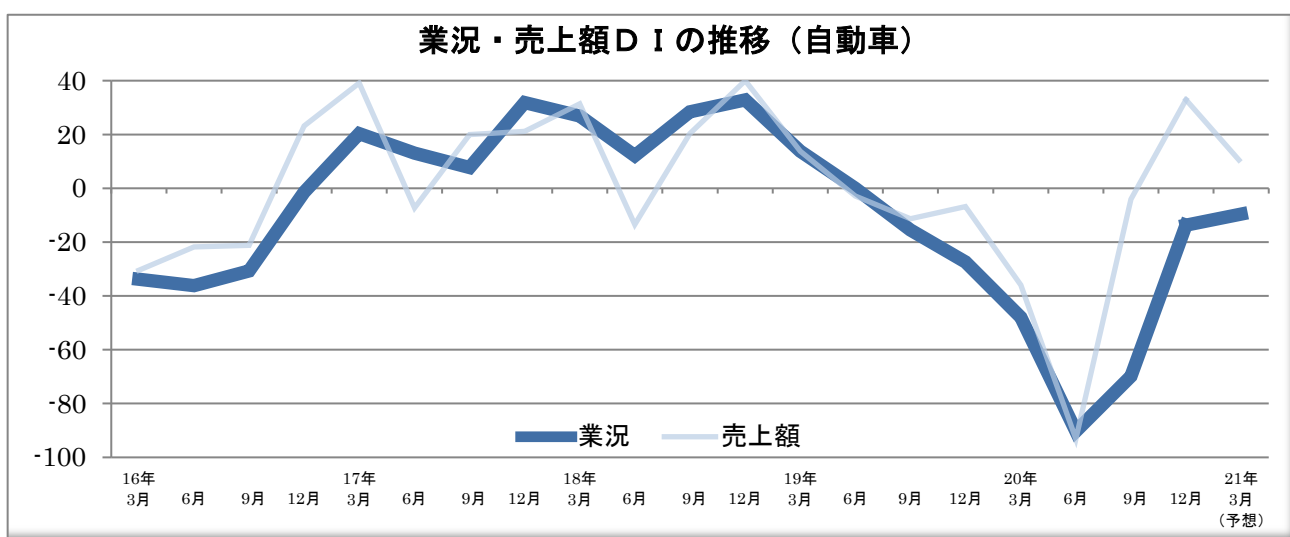
●10～12月期の景況

業況DIは56.2㊦大幅改善の-13.7となり、製造業の中で一番改善した。売上額DIは37.0㊦の改善、受注残DIは45.9㊦の改善、収益DIは39.7㊦の改善となった。主要3項目はいずれも大幅に改善し、すべてプラス水準まで回復した。

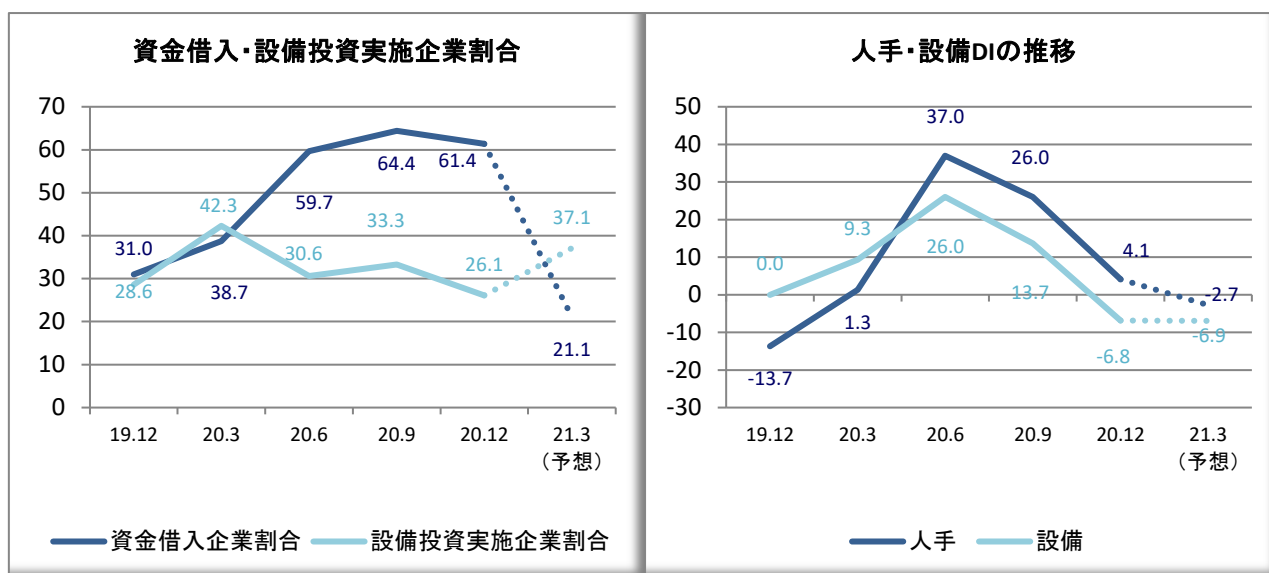
調査員のコメントでは、10月以降の受注状況は回復傾向にある、売上も上向いているなど前向きなコメントが多かった。また、今回も製造業のコメントの中でも自動車が一番「回復」の文字が多くみられ、景況感の回復がうかがえる。

●1～3月期の景況予想

次回の業況DIは4.1㊦改善の-9.6となる。売上額DIは23.3㊦の悪化、受注残DIは23.7㊦の悪化、収益DIは23.2㊦の悪化を見込む。



| 自動車 | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | 12.2 | 28.4 | 32.9 | 13.8 | 0.0 | -15.5 | -27.4 | -48.0 | -90.3 | -69.9 | -13.7 | -9.6 |
| 売上額 | 増加-減少 | -13.5 | 20.3 | 40.0 | 13.8 | -2.9 | -11.3 | -6.8 | -36.0 | -93.2 | -4.1 | 32.9 | 9.6 |
| 受注残 | 増加-減少 | 0.0 | 14.9 | 24.3 | 12.5 | -11.4 | -15.9 | -1.4 | -18.7 | -86.1 | -15.3 | 30.6 | 6.9 |
| 収益 | 増加-減少 | -13.5 | 6.8 | 31.4 | 6.3 | -10.0 | -14.1 | -11.0 | -29.3 | -93.2 | -19.2 | 20.5 | -2.7 |
| 販売価格 | 上昇-下降 | -5.4 | 1.4 | 2.9 | 5.1 | 4.3 | -1.4 | -1.4 | -1.3 | -9.6 | -2.7 | -1.4 | -2.8 |
| 原材料価格 | 上昇-下降 | 21.6 | 20.3 | 25.7 | 16.3 | 22.9 | 15.5 | 20.5 | 15.1 | 6.9 | -1.4 | 6.8 | 2.7 |
| 原材料在庫 | 過剰-不足 | 10.8 | 9.5 | 4.3 | 8.8 | 11.4 | 14.1 | 5.5 | 13.3 | 31.9 | 13.7 | 4.2 | 2.8 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | 8.1 | 4.1 | 10.0 | 3.8 | 4.3 | -11.4 | -16.4 | -16.0 | -41.1 | -19.2 | 9.6 | 1.4 |
| 残業時間 | 増加-減少 | 24.3 | 23.0 | 1.4 | -6.3 | -17.1 | -33.8 | -28.8 | -33.3 | -78.1 | -50.7 | -15.1 | -6.8 |
| 人手 | 過剰-不足 | -48.6 | -44.6 | -41.4 | -22.5 | -17.4 | -16.9 | -13.7 | 1.3 | 37.0 | 26.0 | 4.1 | -2.7 |
| 設備 | 過剰-不足 | -17.6 | -25.7 | -14.3 | -10.0 | -14.3 | -11.3 | 0.0 | 9.3 | 26.0 | 13.7 | -6.8 | -6.9 |



調査員のコメントより

- ✓ 10月以降の受注状況は回復傾向にある。(同意見多数)
- ✓ 新型コロナウイルスの影響を大きく受けたが、会社が一体となり業況回復が図られている。(同意見複数)
- ✓ 新型コロナウイルスの第2波により、稼働日数を調整したが、現在徐々に回復している。
- ✓ 夏場以降、自動車部品の受注は回復している。
- ✓ 新規受注もとれており、売上は上向いている。
- ✓ 新型プレス機を導入し、幅広い金型製造が可能となり、販路も広がった。
- ✓ 新型コロナウイルスの影響を受けているが、最低限の量は確保できている。
- ✓ 新型コロナウイルス前と比較すると、依然マイナス60~70%となっている。
- ✓ 新型コロナウイルスによる受注減少の影響を大きく受けて、資金繰りが悪化している。
- ✓ 新型コロナウイルスの第3波により、来年の見通しが不透明になっている。(同意見複数)

業況DIは改善するも、自動車・二輪に比べ回復遅く

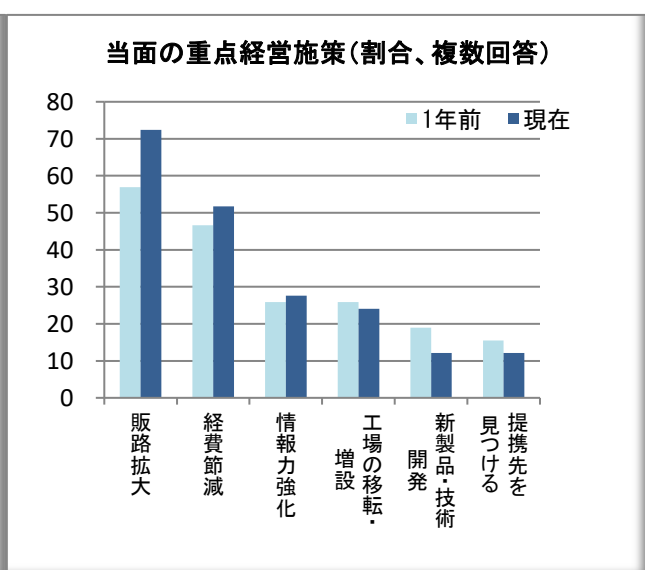
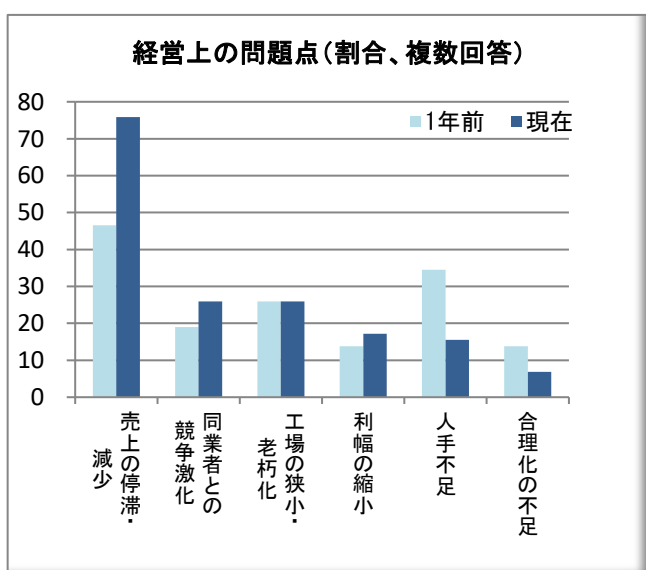
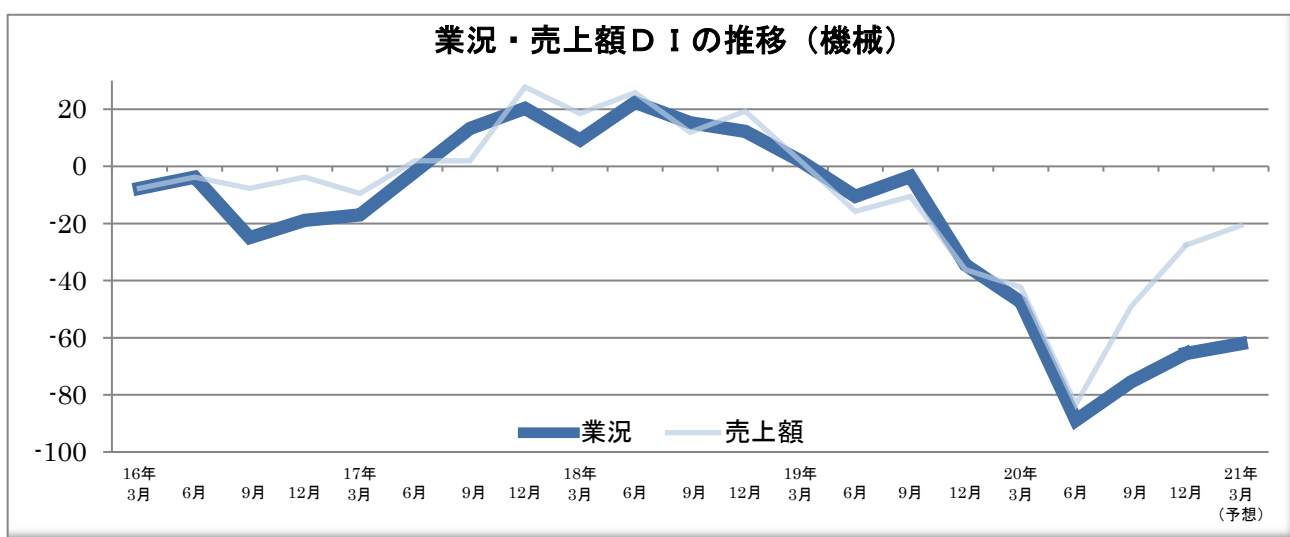
●10～12月期の景況

業況DIは8.9ポイント改善の-65.5となった。売上額DIは21.5ポイントの改善、受注残DIは16.3ポイントの改善、収益DIは21.6ポイントの改善となり、主要3項目はいずれも改善したが、自動車・二輪がプラス水準に転じたのに比べ、マイナス水準のままである。

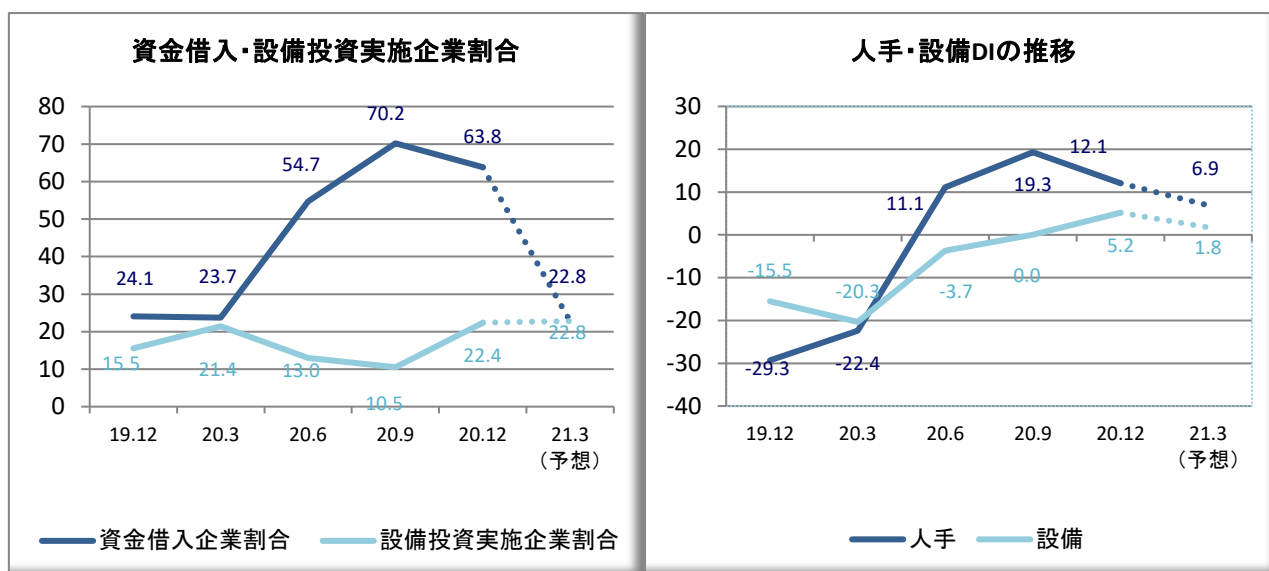
調査員のコメントをみると、業況は安定的に推移している、受注は堅調に推移しているなど持ち直しているコメントが多くあった。一方、大手の設備投資が鈍化しており、売上が低下しているとのコメントも複数あった。

●1～3月期の景況予想

次回の業況DIは3.4ポイント改善の-62.1となる。売上額DIは6.9ポイントの改善、受注残DIは10.4ポイントの改善、収益DIは横ばいを見込む。



| 機械 | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | 22.4 | 15.3 | 12.3 | 2.0 | -10.5 | -3.5 | -34.5 | -47.5 | -88.9 | -75.4 | -65.5 | -62.1 |
| 売上額 | 増加-減少 | 25.9 | 11.9 | 19.3 | 2.0 | -15.8 | -10.5 | -36.2 | -42.4 | -83.3 | -49.1 | -27.6 | -20.7 |
| 受注残 | 増加-減少 | 25.9 | 3.4 | 12.3 | 0.0 | -10.5 | -10.5 | -34.5 | -44.1 | -85.2 | -49.1 | -32.8 | -22.4 |
| 収益 | 増加-減少 | 13.8 | 11.9 | 8.8 | -5.9 | -24.6 | -26.3 | -39.7 | -40.7 | -81.1 | -52.6 | -31.0 | -31.0 |
| 販売価格 | 上昇-下降 | 3.4 | 5.1 | 5.3 | -5.9 | -5.3 | 1.8 | -5.2 | -11.9 | -24.1 | -15.8 | -12.1 | -8.6 |
| 原材料価格 | 上昇-下降 | 34.5 | 32.2 | 43.9 | 33.3 | 24.6 | 8.8 | 10.3 | 6.8 | -5.6 | -5.3 | -1.7 | 1.7 |
| 原材料在庫 | 過剰-不足 | 0.0 | 3.4 | 7.0 | 5.9 | 1.8 | 8.8 | 12.1 | 3.4 | 5.6 | 8.8 | 6.9 | 1.7 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | -5.2 | -10.2 | -10.5 | -10.0 | -14.0 | -8.8 | -31.6 | -27.1 | -40.7 | -24.6 | -27.6 | -25.9 |
| 残業時間 | 増加-減少 | 24.1 | 0.0 | 8.8 | 7.8 | -10.5 | -14.0 | -27.6 | -39.7 | -77.8 | -71.9 | -46.6 | -41.4 |
| 人手 | 過剰-不足 | -51.7 | -32.2 | -42.1 | -36.0 | -31.6 | -33.3 | -29.3 | -22.4 | 11.1 | 19.3 | 12.1 | 6.9 |
| 設備 | 過剰-不足 | -27.6 | -23.7 | -31.6 | -33.3 | -26.3 | -22.8 | -15.5 | -20.3 | -3.7 | 0.0 | 5.2 | 1.8 |



調査員のコメントより

- ✓ コロナ禍においても、業況は安定的に推移している。
- ✓ 量産関連の動きが活発になってきたため、年内の受注は堅調に推移している。
- ✓ 10月頃から関東圏の設備機器需要が少しずつ回復してきており、受注も増加する見込みである。
- ✓ 工場内合理化設備投資も回復傾向にある。
- ✓ 9月から売上は増加傾向にあるが、前年に比べると依然としてマイナス10%の状況である。
- ✓ 受注増加に伴う人手不足が課題である。
- ✓ 中国からの受注は回復傾向にあるが、国内受注は低調である。
- ✓ コロナ禍により受注先の大手メーカーの業況も厳しくなり、当社も大きな影響を受けている。
- ✓ 親会社による下請け業者の選別が、鮮明になってきている。
- ✓ 大手の設備投資が鈍化しており、売上が低下している。(同意見複数)
- ✓ コロナ禍で設備設置の延期や海外への輸送等が厳しい環境であり、当面厳しい状況が続くと思われる。
- ✓ 新型コロナウイルスの収束が不透明であり、先行きへの不安は大きい。(同意見複数)

業況DIは改善し、最悪期は脱する

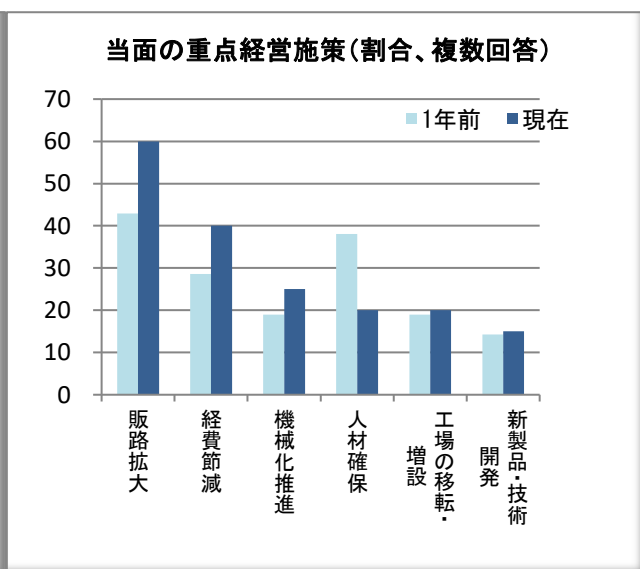
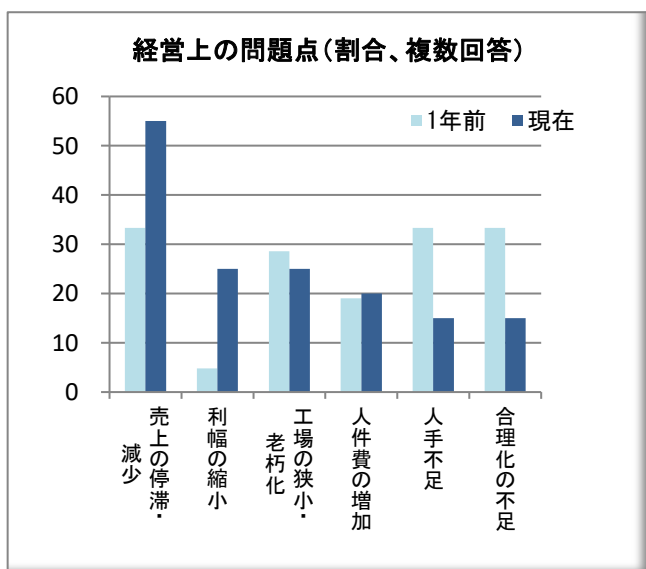
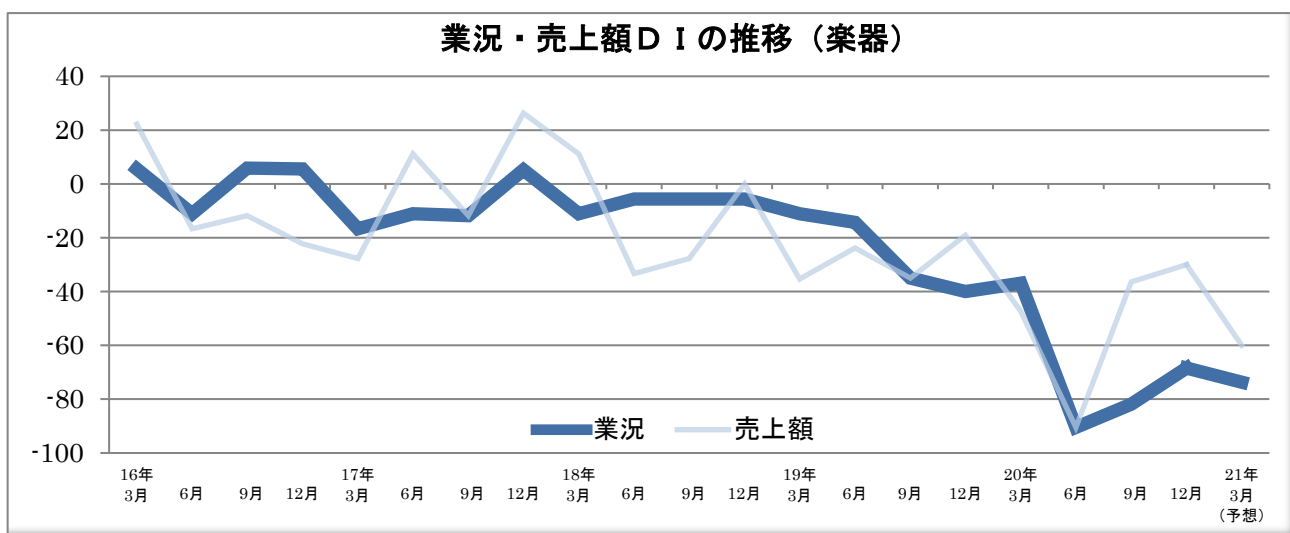
●10～12月期の景況

業況DIは13.4ポイント改善の-68.4であり、2四半期連続の改善となった。売上額DIは6.4ポイントの改善、受注残DIは11.8ポイントの改善、収益DIは5.9ポイントの改善となった。

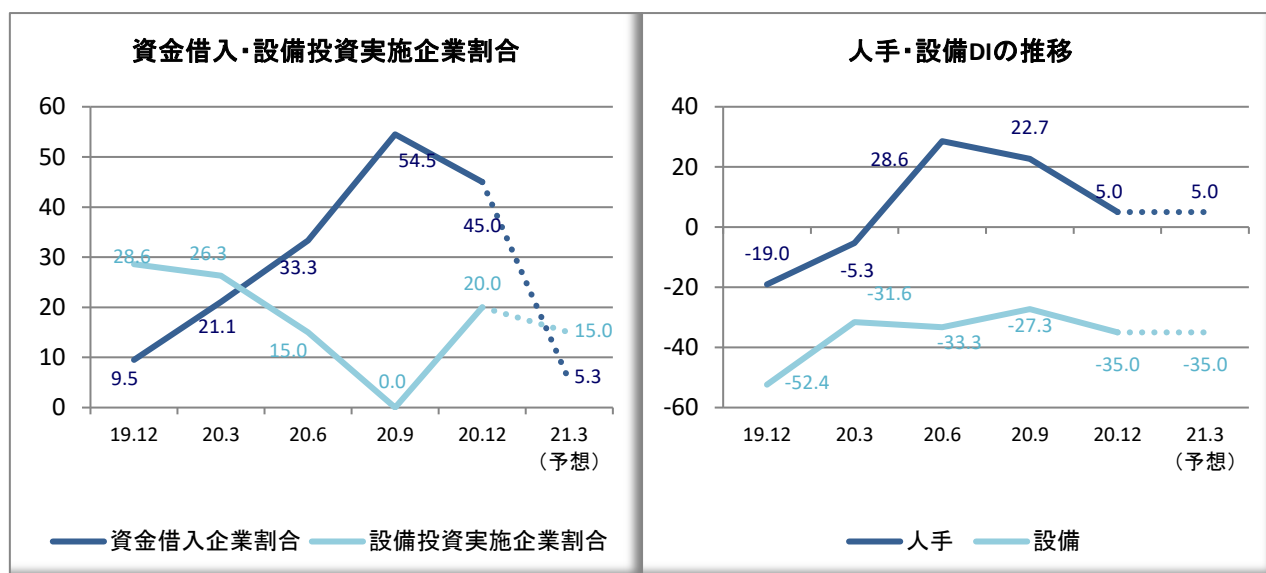
調査員のコメントをみると、回復の声がある一方、受注が減少傾向との声も複数あり、最悪期は脱したものの、マイナス水準が低い状況である。

●1～3月期の景況予想

次回の業況DIは5.3ポイント悪化の-73.7を見込む。売上額DIは30.0ポイントの悪化、受注残DIは20.0ポイントの悪化、収益DIは30.0ポイントの悪化を見込む。



| 楽器 | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | -5.6 | -5.6 | -5.6 | -11.1 | -14.3 | -35.0 | -40.0 | -36.8 | -90.5 | -81.8 | -68.4 | -73.7 |
| 売上額 | 増加-減少 | -33.3 | -27.8 | 0.0 | -35.3 | -23.8 | -35.0 | -19.0 | -47.4 | -90.5 | -36.4 | -30.0 | -60.0 |
| 受注残 | 増加-減少 | -11.1 | -22.2 | 5.6 | -16.7 | -14.3 | -20.0 | -9.5 | -21.1 | -81.0 | -31.8 | -20.0 | -40.0 |
| 収益 | 増加-減少 | -16.7 | -11.1 | -11.1 | -27.8 | -23.8 | -20.0 | -4.8 | -47.4 | -90.5 | -40.9 | -35.0 | -65.0 |
| 販売価格 | 上昇-下降 | 6.3 | 16.7 | 11.1 | 11.1 | 5.0 | 5.0 | 14.3 | 5.6 | 0.0 | -9.5 | -5.3 | -10.5 |
| 原材料価格 | 上昇-下降 | 58.8 | 27.8 | 33.3 | 22.2 | 25.0 | 10.0 | 28.6 | 22.2 | 10.0 | 14.3 | 10.5 | 10.5 |
| 原材料在庫 | 過剰-不足 | 5.9 | 5.6 | 5.6 | 5.6 | 15.0 | 15.0 | 0.0 | 5.6 | 20.0 | 4.8 | 15.8 | 10.5 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | 0.0 | -11.1 | -5.6 | -11.1 | -14.3 | -15.0 | -9.5 | -15.8 | -52.4 | -45.5 | -30.0 | -35.0 |
| 残業時間 | 増加-減少 | 0.0 | -5.6 | 27.8 | 27.8 | -4.8 | -5.0 | 0.0 | -5.3 | -33.3 | -50.0 | -40.0 | -45.0 |
| 人手 | 過剰-不足 | -27.8 | -33.3 | -33.3 | -16.7 | -4.8 | -15.0 | -19.0 | -5.3 | 28.6 | 22.7 | 5.0 | 5.0 |
| 設備 | 過剰-不足 | -33.3 | -33.3 | -27.8 | -16.7 | -28.6 | -35.0 | -52.4 | -31.6 | -33.3 | -27.3 | -35.0 | -35.0 |



調査員のコメントより

- ✓ 受注が回復傾向にある。
- ✓ 新型コロナウイルスの影響は少なく、受注は安定している。
- ✓ 自社ブランド化による差別化を図っている。
- ✓ イベント中止により販売機会を失ったため、今後は販路開拓に努めていく。
- ✓ 業況については、最悪期は脱したもの、戻りは鈍い。
- ✓ 主要取引先からの受注は減少傾向にある。(同意見複数)
- ✓ 新型コロナウイルスの影響で、受注も減少している。
- ✓ 消費マインドの低下もあり、受注量回復の目途が立っていない。
- ✓ 新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、今後の受注状況は不透明となっている。
- ✓ 海外での部品生産が遅れることがある。

業況DIはマイナス80台が続く

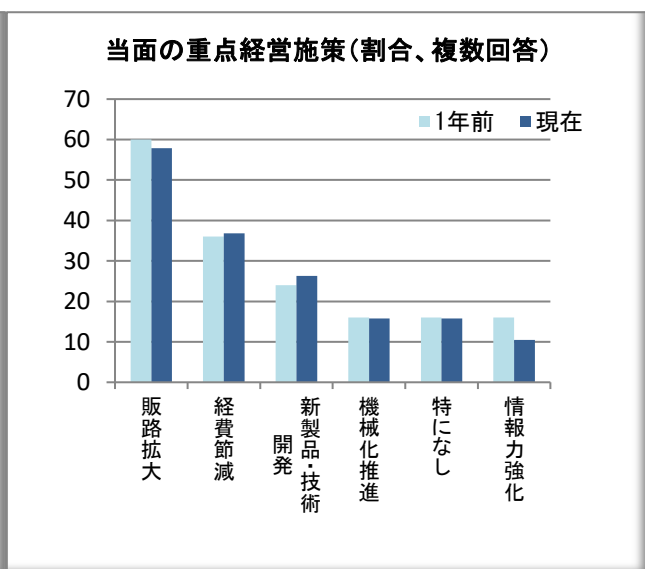
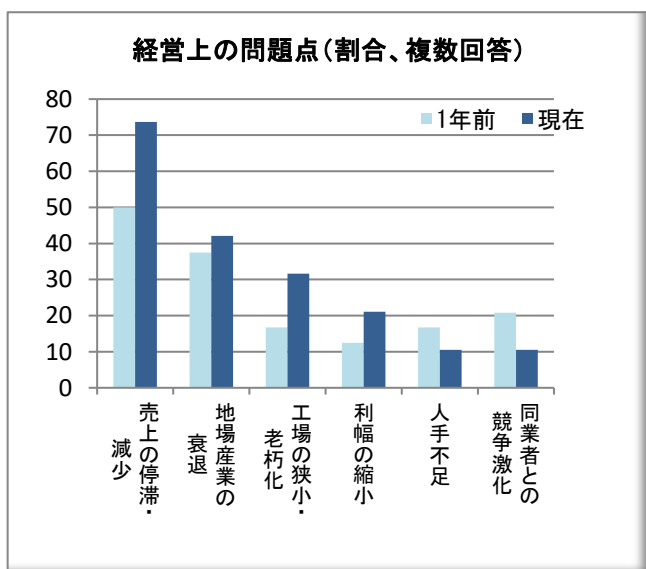
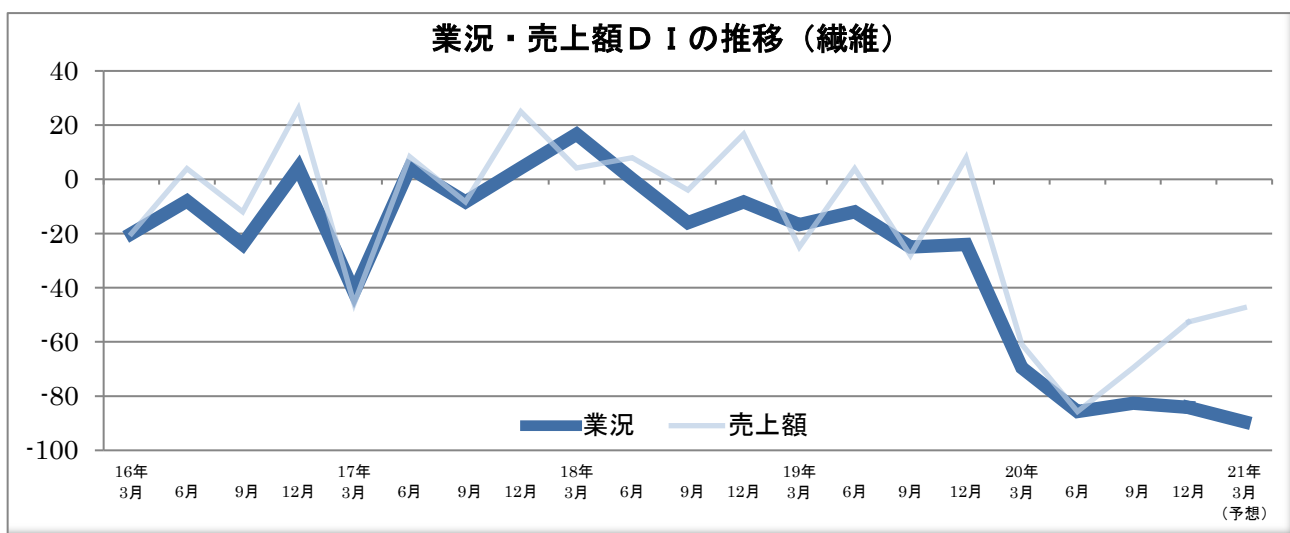
●10～12月期の景況

業況DIは1.6割悪化の-84.2であり、前々回過去最低の-85.7と同じマイナス80台が続いている。売上額DIは17.0割改善、受注残DIは12.6割の改善、収益DIは8.3割の改善となった。

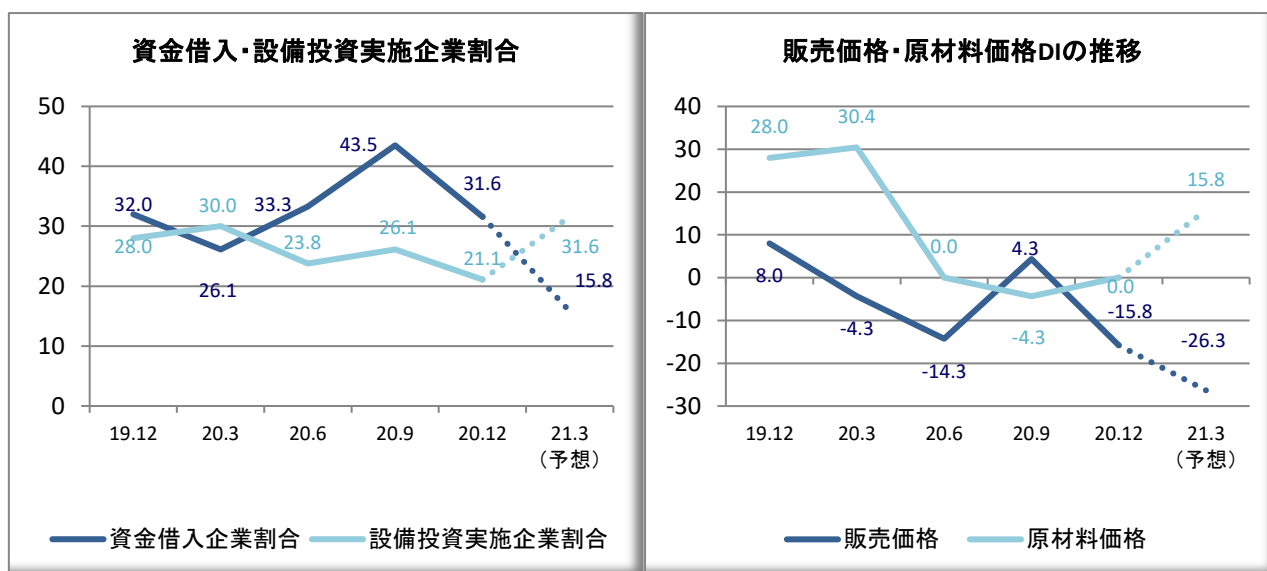
調査員のコメントをみると、例年であれば、来春夏向け素材の生産が拡大していく時期ではあるが、現時点ではその気配を感じないなど、景況感が回復していないことがうかがえる。アパレル関連の低迷も一因と思われる。また、各種イベントの中止も続いており、先行きが悪い状態である。

●1～3月期の景況予想

次回の業況DIは5.3割悪化の-89.5となる。売上額DIは5.2割の改善、受注残DIは10.5割の改善、収益DIは5.2割の改善を見込む。



| 繊維 | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | 0.0 | -16.0 | -8.3 | -16.7 | -12.0 | -25.0 | -24.0 | -69.6 | -85.7 | -82.6 | -84.2 | -89.5 |
| 売上額 | 増加-減少 | 8.0 | -4.0 | 16.7 | -25.0 | 4.0 | -28.0 | 8.0 | -60.9 | -85.7 | -69.6 | -52.6 | -47.4 |
| 受注残 | 増加-減少 | 8.0 | -4.2 | 20.8 | -12.5 | -4.0 | -24.0 | 8.0 | -43.5 | -85.7 | -65.2 | -52.6 | -42.1 |
| 収益 | 増加-減少 | -4.0 | -24.0 | 4.2 | -29.2 | -8.0 | -28.0 | -8.0 | -56.5 | -85.7 | -60.9 | -52.6 | -47.4 |
| 販売価格 | 上昇-下降 | 12.0 | 16.0 | 12.5 | 12.5 | 24.0 | 0.0 | 8.0 | -4.3 | -14.3 | 4.3 | -15.8 | -26.3 |
| 原材料価格 | 上昇-下降 | 52.0 | 28.0 | 25.0 | 29.2 | 40.0 | 32.0 | 28.0 | 30.4 | 0.0 | -4.3 | 0.0 | 15.8 |
| 原材料在庫 | 過剰-不足 | 8.0 | 8.0 | 4.2 | 8.3 | 16.0 | 20.0 | 8.0 | 26.1 | 19.0 | 39.1 | 36.8 | 31.6 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | 4.0 | 16.0 | -8.3 | -8.3 | -4.0 | -8.0 | -16.0 | -34.8 | -57.1 | -47.8 | -21.1 | -15.8 |
| 残業時間 | 増加-減少 | 16.0 | 4.0 | 0.0 | -4.2 | 12.0 | -4.2 | 4.0 | 0.0 | -47.6 | -50.0 | -27.8 | -11.1 |
| 人手 | 過剰-不足 | -16.0 | -20.0 | -8.7 | -4.2 | -8.0 | -4.0 | -20.0 | -13.0 | 33.3 | 26.1 | 5.3 | 0.0 |
| 設備 | 過剰-不足 | -8.0 | -20.0 | -13.0 | -8.3 | -8.0 | -8.0 | -20.0 | -4.5 | 14.3 | 13.0 | 10.5 | 10.5 |



調査員のコメントより

- ✓ 国内受注は安定的に推移している。
- ✓ 取引先と提携し、新分野への挑戦を企画している。
- ✓ コロナ禍により売上は前年比5割程度まで減少したが、現状では7割程度まで回復してきている。
- ✓ 例年であれば、来春夏向け素材の生産が拡大していく時期であるが、現時点ではその気配を感じない。
- ✓ 新型コロナウイルス拡大前から売上低迷していたが、さらに状況は悪化している。
- ✓ 各種イベントが相次いで中止となり、商社からの受注もないため、先行きが悪い状態である。
- ✓ 売上が低下傾向にあり、資金繰りが逼迫している。
- ✓ 今年生産した服が新型コロナウイルスの影響で売れず、在庫となっている。
- ✓ 同業他社の廃業が続いている。
- ✓ 業界全体が衰退する中、新型コロナウイルスが追い打ちをかけ、回復の兆しも見えない。

インターネット販売が好調も、生産量は減少

●10～12月期の景況

業況 DI は-60.0 となり、前回と比べ 13.3 ㊦の改善であり、前回の過去最低を脱した。売上額 DI は 33.3 ㊦の改善、受注残 DI は 13.3 ㊦の改善、収益 DI は 20.0 ㊦改善したが、主要 3 項目のすべてマイナス水準のままとなった。

調査員のコメントをみると、お茶の販売店の販売不振を受けて、製茶も低迷していることがうかがえる。一方、お茶のインターネット販売は好調との声が複数あった。

●1～3月期の景況予想

次回の業況 DI は、13.3 ㊦改善の-46.7 となる。売上額 DI は 20.0 ㊦の悪化、受注残 DI は 20.0 ㊦の悪化、収益 DI は 13.3 ㊦の悪化を見込む。

| 製茶 | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | 0.0 | 15.4 | -26.7 | -16.7 | -23.5 | -18.8 | -33.3 | -42.9 | -37.5 | -73.3 | -60.0 | -46.7 |
| 売上額 | 増加-減少 | 14.3 | -23.1 | -26.7 | 0.0 | 58.8 | -37.5 | -20.0 | -35.7 | 18.8 | -60.0 | -26.7 | -46.7 |
| 受注残 | 増加-減少 | 9.5 | -15.4 | 0.0 | -16.7 | 35.3 | -25.0 | -6.7 | -21.4 | 6.3 | -40.0 | -26.7 | -46.7 |
| 収益 | 増加-減少 | 14.3 | -23.1 | -13.3 | -16.7 | 52.9 | -31.3 | -13.3 | -28.6 | 12.5 | -46.7 | -26.7 | -40.0 |
| 販売価格 | 上昇-下降 | 19.0 | -23.1 | -6.7 | -25.0 | 0.0 | -31.3 | -26.7 | -21.4 | 12.5 | -33.3 | -46.7 | -26.7 |
| 原材料価格 | 上昇-下降 | 9.5 | -15.4 | -26.7 | 8.3 | -11.8 | -31.3 | -33.3 | -21.4 | -6.3 | -26.7 | -26.7 | -13.3 |
| 原材料在庫 | 過剰-不足 | 4.8 | 7.7 | 13.3 | 33.3 | 5.9 | 43.8 | 13.3 | 7.1 | -6.3 | 33.3 | 20.0 | 6.7 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | -11.8 | -31.3 | -33.3 | -21.4 | -25.0 | -20.0 | -20.0 | -6.7 |
| 残業時間 | 増加-減少 | 9.5 | 15.4 | 6.7 | -8.3 | 17.6 | -12.5 | -6.7 | -21.4 | 6.3 | -33.3 | -20.0 | -13.3 |
| 人手 | 過剰-不足 | -38.1 | -7.7 | -13.3 | -8.3 | -11.8 | -18.8 | -20.0 | -7.1 | -6.3 | 13.3 | 0.0 | 0.0 |
| 設備 | 過剰-不足 | 0.0 | -7.7 | -6.7 | -8.3 | 5.9 | -6.3 | -6.7 | -14.3 | -12.5 | 0.0 | 0.0 | -6.7 |

調査員のコメントより

- ✓ お茶のインターネット販売は好調であり、Web 販促を強化していく。(同意見複数)
- ✓ 販売店への営業推進や新商品開発、広告掲載を積極的に行っており、売上も増加している。
- ✓ 関東圏の香典返しの受注が戻る見通しは立っていない。
- ✓ 取引先販売店の営業時間短縮などが響いて、売上が大きく減少している。
- ✓ 製茶販売価格が下落しており、売上減少を強いられている。
- ✓ 新型コロナウイルスの影響により、イベントが自粛となり、茶の販売も減少している。
- ✓ 鹿児島県の台頭による静岡ブランドの低迷を危惧している。
- ✓ 新型コロナウイルスの影響長期化により、先行きの見通しが立たない。

業況DIは改善するも、生産量は減少

●10～12月期の景況

業況DIは39.1㊦改善の-53.8となり、前回の過去最低を脱した。売上額DIは50.0㊦の改善、受注残DIは42.3㊦の改善、収益DIは35.2㊦の改善となった。

調査員のコメントをみると、年々生産量が減少している、売上は減少傾向にあるなど、業界全体が低迷していることがうかがえる。3密対策の商品を製造するなど、アフターコロナへの対応をしているところもある。

●1～3月期の景況予想

次回の業況DIは7.7㊦悪化の-61.5となる。売上額DIは46.2㊦の悪化、受注残DIは38.5㊦の悪化、収益DIは46.1㊦の悪化を見込む。

| 製材 | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | -14.3 | -35.3 | -11.1 | 0.0 | -12.5 | -25.0 | -27.8 | -46.7 | -60.0 | -92.9 | -53.8 | -61.5 |
| 売上額 | 増加-減少 | -14.3 | -23.5 | 16.7 | -18.8 | -12.5 | -25.0 | -11.1 | -20.0 | -73.3 | -50.0 | 0.0 | -46.2 |
| 受注残 | 増加-減少 | -14.3 | -17.6 | 11.1 | 6.3 | 0.0 | -12.5 | -22.2 | -20.0 | -80.0 | -50.0 | -7.7 | -46.2 |
| 収益 | 増加-減少 | -7.1 | -23.5 | 16.7 | -6.3 | -6.3 | -25.0 | -5.6 | -40.0 | -80.0 | -42.9 | -7.7 | -53.8 |
| 販売価格 | 上昇-下降 | -7.1 | -5.9 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | -18.8 | -11.1 | 6.7 | -20.0 | -14.3 | -7.7 | -7.7 |
| 原材料価格 | 上昇-下降 | 0.0 | 23.5 | 22.2 | 6.3 | 6.7 | 18.8 | 17.6 | 21.4 | -13.3 | -14.3 | 15.4 | 23.1 |
| 原材料在庫 | 過剰-不足 | 21.4 | 5.9 | 11.1 | 26.7 | -6.7 | -6.7 | 5.9 | -7.1 | 7.1 | 21.4 | 0.0 | -15.4 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | -35.7 | -23.5 | -16.7 | -12.5 | -12.5 | -18.8 | -22.2 | -6.7 | -46.7 | -7.1 | -15.4 | -23.1 |
| 残業時間 | 増加-減少 | -7.1 | -12.5 | 5.6 | -6.3 | 0.0 | -25.0 | 0.0 | -7.1 | -60.0 | -35.7 | -23.1 | -30.8 |
| 人手 | 過剰-不足 | -28.6 | -11.8 | -16.7 | -6.3 | -25.0 | 0.0 | -11.1 | 0.0 | 0.0 | 35.7 | 0.0 | 0.0 |
| 設備 | 過剰-不足 | 0.0 | -5.9 | -5.6 | -12.5 | -6.3 | 0.0 | -22.2 | 0.0 | 13.3 | 0.0 | 0.0 | -7.7 |

調査員のコメントより

- ✓ 必要最低限の人員で事業を行い、無駄を極力減らす努力をしながら経営をしている。
- ✓ 3密対策商品の製造を通して、自社の技術力をアピールしていく。
- ✓ 新型コロナウイルスの影響から、前年に比べ生産量は若干減少している。
- ✓ 主要取引先からの受注量が年々減少している。
- ✓ 特に、パチンコ業界の低迷の影響が大きく、売上は減少傾向にある。
- ✓ 製品仕入先の東南アジアでも外出制限があり、今後の仕入に影響が懸念される。
- ✓ 販路の拡大が最大の課題と思われる。
- ✓ 代表者が高齢化であり、後継者への事業承継を進めている。

業況DIは前回の過去最低を脱する

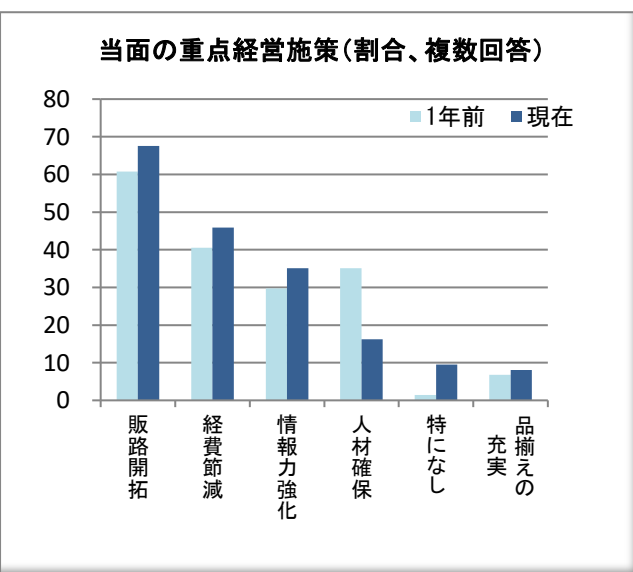
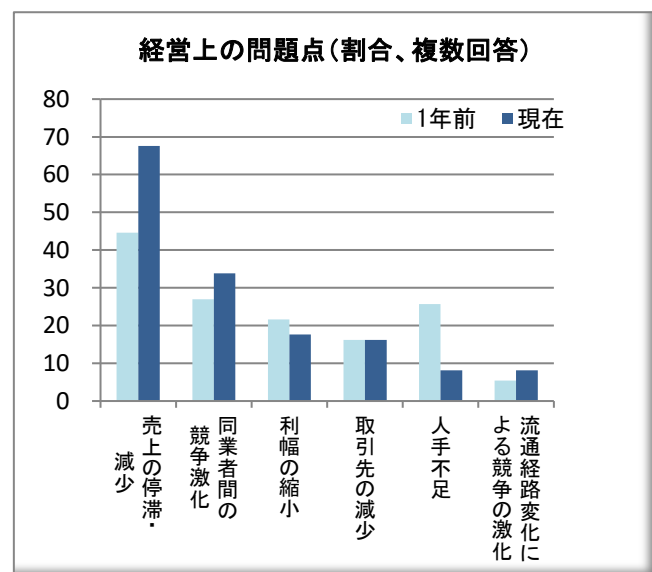
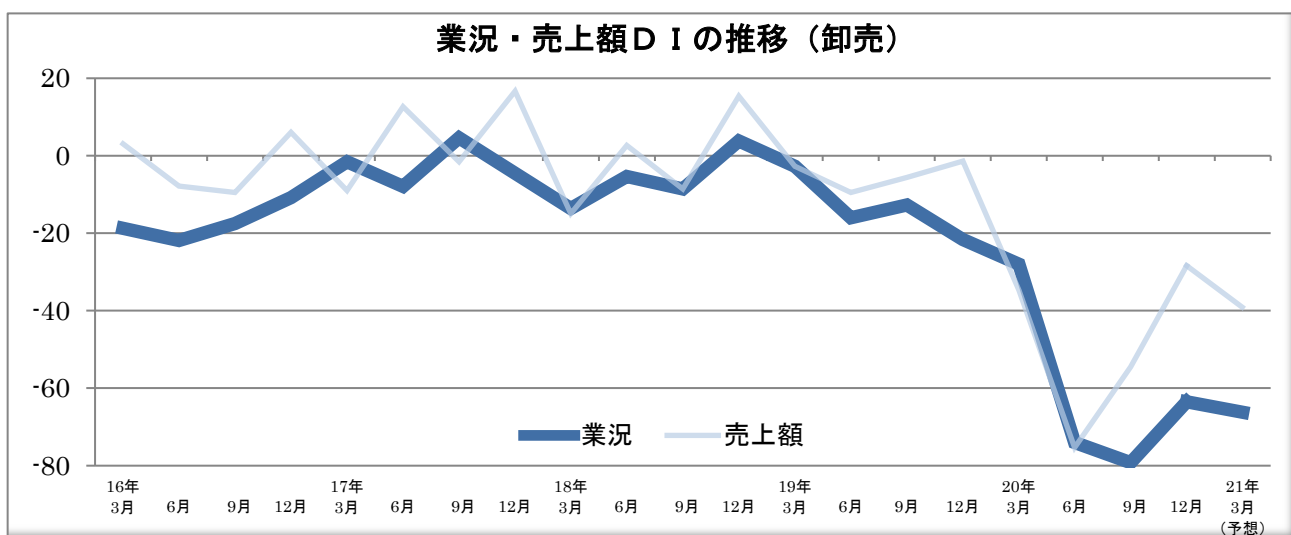
●10～12月期の景況

業況DIは15.7ポイント改善の-63.5となり、前回の過去最低を脱した。売上額DIは26.1ポイントの改善、収益DIは19.5ポイントの改善となった。

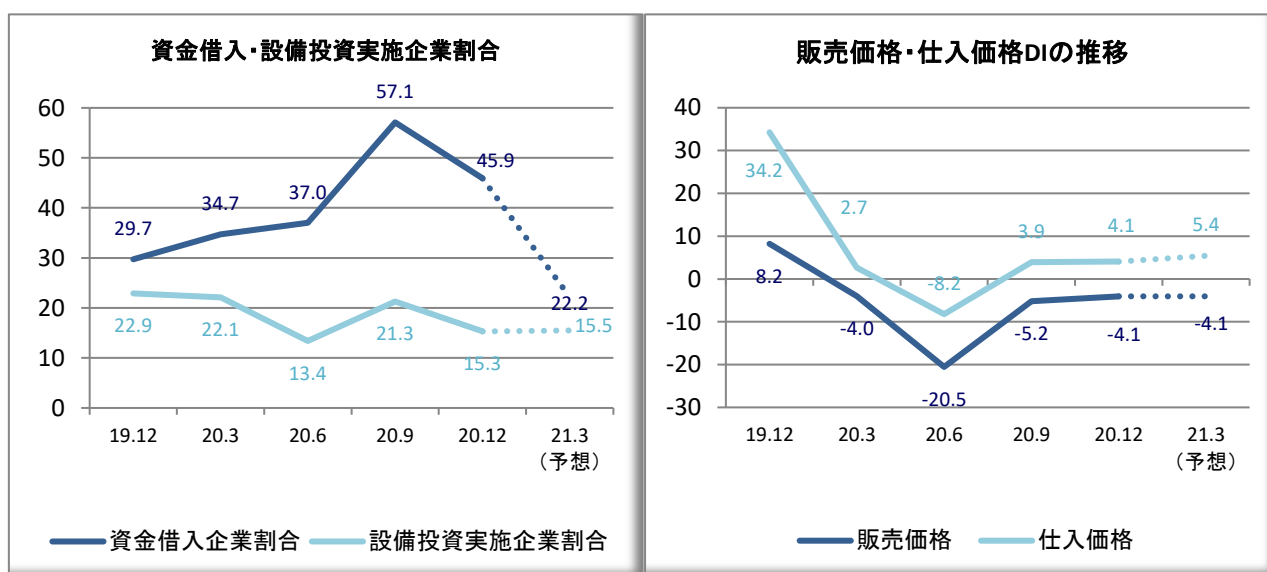
調査員のコメントをみると、巣ごもり需要によるコロナ特需やネットショッピングの利用者増加などプラス面のコメントもあるが、売上が減少しているなど既存事業の不振も目立っている。

●1～3月期の景況予想

次回の業況DIは2.7ポイント悪化の-66.2となる。売上額DIは10.8ポイントの悪化、収益DIは6.8ポイントの悪化を見込む。



| 卸売業 | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | -5.3 | -8.5 | 3.8 | -2.7 | -16.0 | -12.7 | -21.6 | -28.0 | -74.0 | -79.2 | -63.5 | -66.2 |
| 売上額 | 増加-減少 | 2.7 | -8.5 | 15.4 | -2.7 | -9.5 | -5.6 | -1.4 | -34.7 | -75.3 | -54.5 | -28.4 | -39.2 |
| 収益 | 増加-減少 | -4.0 | -11.0 | 11.5 | -4.1 | -12.0 | -15.7 | -9.6 | -36.0 | -74.0 | -51.9 | -32.4 | -39.2 |
| 販売価格 | 上昇-下降 | 14.7 | 6.1 | 10.3 | 14.9 | 9.3 | 5.6 | 8.2 | -4.0 | -20.5 | -5.2 | -4.1 | -4.1 |
| 仕入価格 | 上昇-下降 | 26.7 | 20.7 | 20.5 | 37.8 | 25.3 | 21.4 | 34.2 | 2.7 | -8.2 | 3.9 | 4.1 | 5.4 |
| 在庫 | 過剰-不足 | 13.3 | 13.4 | 2.6 | 9.5 | 9.3 | 18.3 | 16.4 | 5.3 | 16.7 | 11.7 | 12.2 | 12.2 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | 0.0 | -6.1 | -6.4 | -5.4 | -12.0 | -10.0 | -13.7 | -8.0 | -39.7 | -24.7 | -17.6 | -14.9 |
| 残業時間 | 増加-減少 | 1.3 | -3.7 | 2.6 | 2.7 | -5.3 | -9.9 | -8.1 | -9.5 | -38.4 | -32.9 | -14.9 | -13.5 |
| 人手 | 過剰-不足 | -32.0 | -25.6 | -35.9 | -23.0 | -33.8 | -18.3 | -26.0 | -23.0 | 11.1 | 5.2 | -1.4 | -1.4 |
| 設備 | 過剰-不足 | -9.5 | -11.1 | -12.8 | -5.5 | -5.6 | -10.1 | -11.1 | -1.4 | 5.7 | -2.6 | -5.5 | -5.6 |



調査員のコメントより

- ✓ 巣ごもり需要、ウイルス対策による日用品のニーズが高まり、コロナ特需となっている。(日用品)
- ✓ 7~9月期より回復傾向にあるが、前年度と比較して減少している。(海産物)
- ✓ 今期はミカンの収穫が順調であり、売上が増加予定である。(青果物)
- ✓ 新型コロナウイルスの影響により、ネットショッピング利用者が増加している。(寝具)
- ✓ 外食産業の不況の影響により、カット野菜の売上が減少している。(カット野菜)
- ✓ 新しい生活様式により、既存事業の売上が左右される。(贈答品)
- ✓ 新型コロナウイルスの影響により、競技者の活動減少となり、売上也減少している。(スポーツ用品)
- ✓ 秋以降売上は回復してきたが、新型コロナウイルス第3波の影響を不安視している。(土産品)
- ✓ 納入業者への販売減少が大きく、全体の売上減少の主な要因となっている。(鮮魚)
- ✓ 新型コロナウイルスの影響で、工期が延び、資材の販売数も減少している。(建築金物)
- ✓ 新型コロナウイルス第3波の拡大の影響が出始めている。(溶剤・塗料)
- ✓ 新型コロナウイルスの影響は、依然として続いており、長期化を懸念している。(食肉)

個人消費は持ち直しが一部みられるも、業況DIはほぼ横ばい

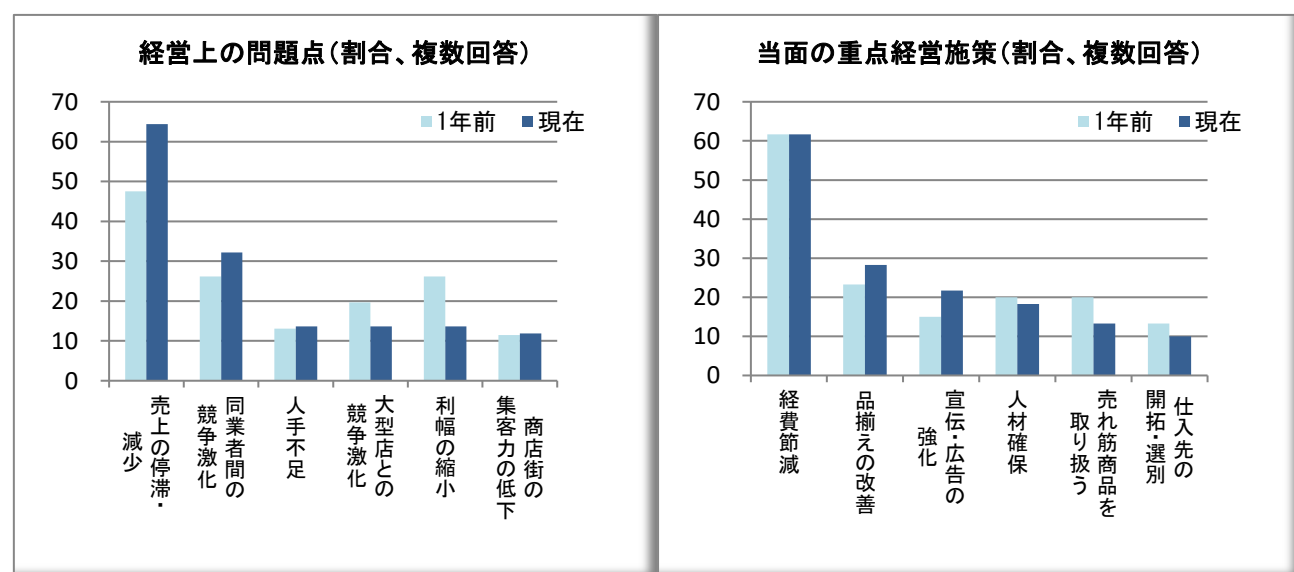
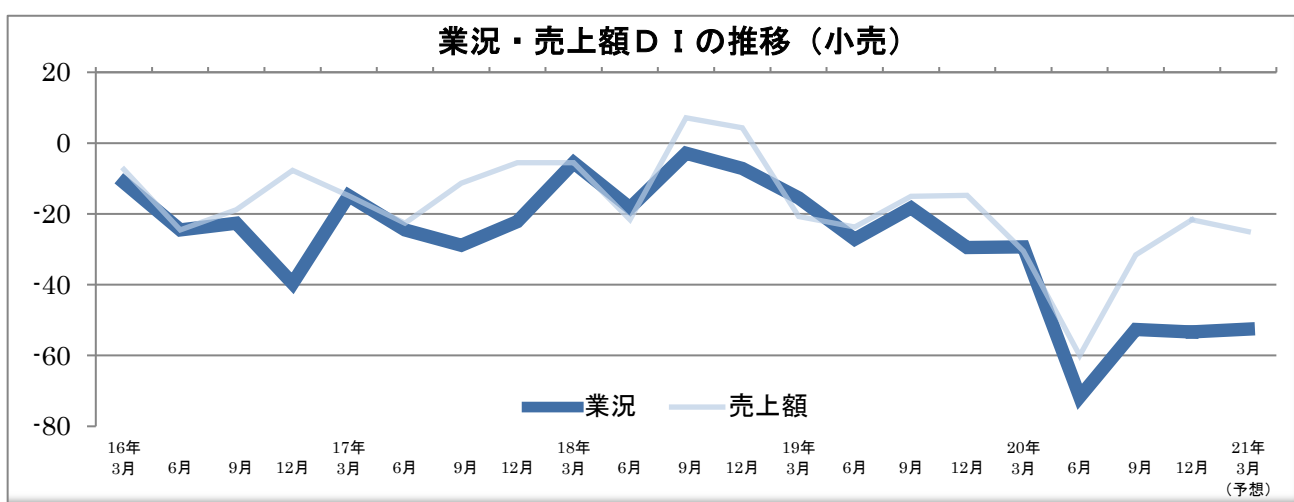
●10～12月期の景況

業況DIは0.7ポイント悪化の-53.3となった。売上額DIは9.9ポイントの改善、収益DIも11.8ポイントの改善となった。

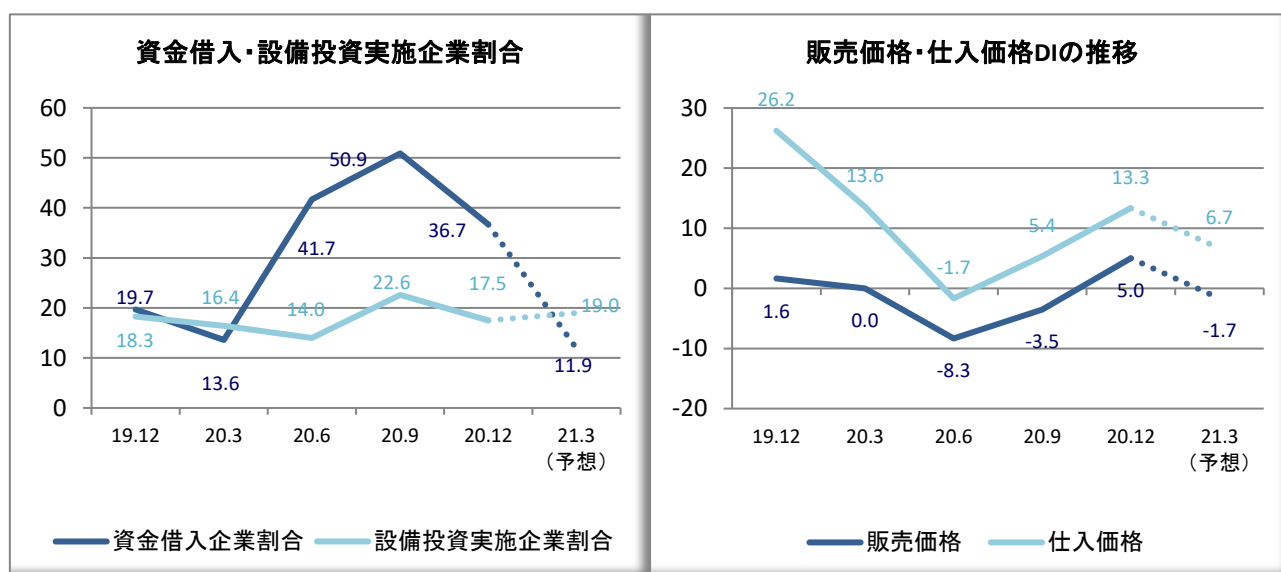
調査員のコメントをみると、巣ごもり需要などが売上を下支えしているといった声もあり、個人消費は持ち直しが一部みられる。しかし、催事や祭りの中止、規模の縮小、外出自粛などが売上の減少を招いていることがうかがえる。新型コロナウイルスの影響が長期化した場合、業況のさらなる悪化が予想される。

●1～3月期の景況予想

次回の業況DIは0.8ポイント改善の-52.5となる。売上額DIは3.3ポイントの悪化、収益DIは8.3ポイントの悪化を見込む。



| 小売業 | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | -18.3 | -2.9 | -7.1 | -15.5 | -27.1 | -18.3 | -29.5 | -29.3 | -71.7 | -52.6 | -53.3 | -52.5 |
| 売上額 | 増加-減少 | -21.7 | 7.1 | 4.3 | -20.7 | -23.7 | -15.0 | -14.8 | -30.5 | -60.0 | -31.6 | -21.7 | -25.0 |
| 収益 | 増加-減少 | -25.0 | -2.9 | -1.4 | -19.0 | -25.4 | -5.0 | -19.7 | -32.2 | -61.7 | -36.8 | -25.0 | -33.3 |
| 販売価格 | 上昇-下降 | 11.7 | 8.6 | 7.1 | -8.6 | 3.4 | -1.7 | 1.6 | 0.0 | -8.3 | -3.5 | 5.0 | -1.7 |
| 仕入価格 | 上昇-下降 | 16.7 | 21.4 | 22.9 | 20.7 | 22.0 | 18.3 | 26.2 | 13.6 | -1.7 | 5.4 | 13.3 | 6.7 |
| 在庫 | 過剰-不足 | 11.7 | 8.6 | 5.7 | 12.1 | -1.7 | 0.0 | 4.9 | 5.1 | 10.0 | 5.3 | 8.3 | 5.0 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | -8.3 | -8.6 | -5.7 | -13.8 | -18.6 | -5.0 | -14.8 | -23.7 | -28.8 | -17.5 | -21.7 | -25.0 |
| 残業時間 | 増加-減少 | -5.1 | 2.9 | -2.9 | 0.0 | 3.5 | -1.7 | -10.0 | -10.3 | -41.7 | -29.8 | -22.0 | -17.2 |
| 人手 | 過剰-不足 | -18.3 | -27.1 | -27.1 | -27.6 | -24.1 | -26.7 | -6.6 | -20.7 | -1.7 | 0.0 | -10.2 | -10.3 |
| 設備 | 過剰-不足 | -5.0 | -4.3 | -8.6 | -3.4 | -11.9 | -5.0 | 1.6 | -1.7 | -5.0 | -5.3 | -5.1 | -3.4 |



調査員のコメントより

- ✓ 巣ごもり需要などが売上を下支えしている。(スーパーマーケット)
- ✓ 新型コロナウイルスによる影響は少なく、概ね業況は良好に推移している。(ガス)
- ✓ アウトドアが脚光を浴び、天候も良好だったことも売上増加に寄与している。(アウトドア用品)
- ✓ 10月以降、中古車が売れ始めている。(自動車販売)
- ✓ コロナ対策による加湿器等の需要が高まることを期待している。(家電)
- ✓ 今後の新型コロナウイルスの流行次第で、売上が変化すると思われる。(海苔)
- ✓ 家族葬など葬儀の規模縮小により、売上が低下している。(フルーツギフト)
- ✓ 地域の催事や祭りが中止になり、売上が減少している。(菓子)
- ✓ 外出自粛により、婦人服の売上が大幅に減少している。(衣料品)
- ✓ 生花の仕入価格も上昇傾向にあるため、厳しい状況が続いている。(生花)
- ✓ 新型コロナウイルスの影響で、街中飲食店への販売が減少している。(米)
- ✓ 外出機会の減少が続いており、売上の減少も続いている。(ガソリン)
- ✓ 新型コロナウイルスの影響による業況の悪化が予想される。(医薬品)

業況DIは小幅改善、人手不足が課題

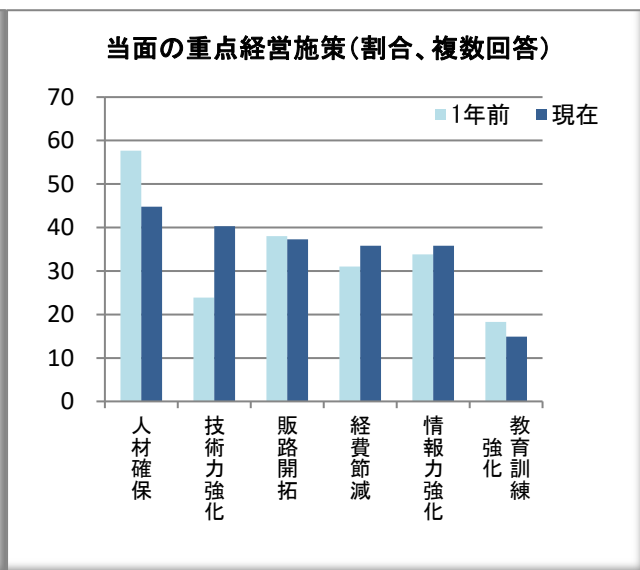
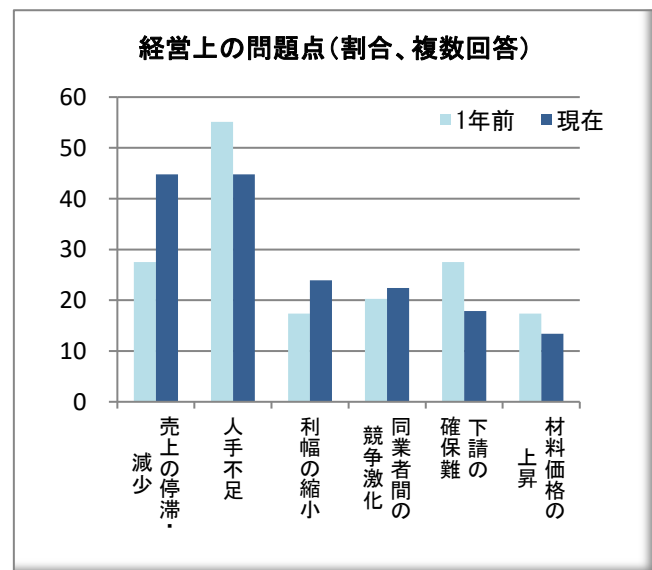
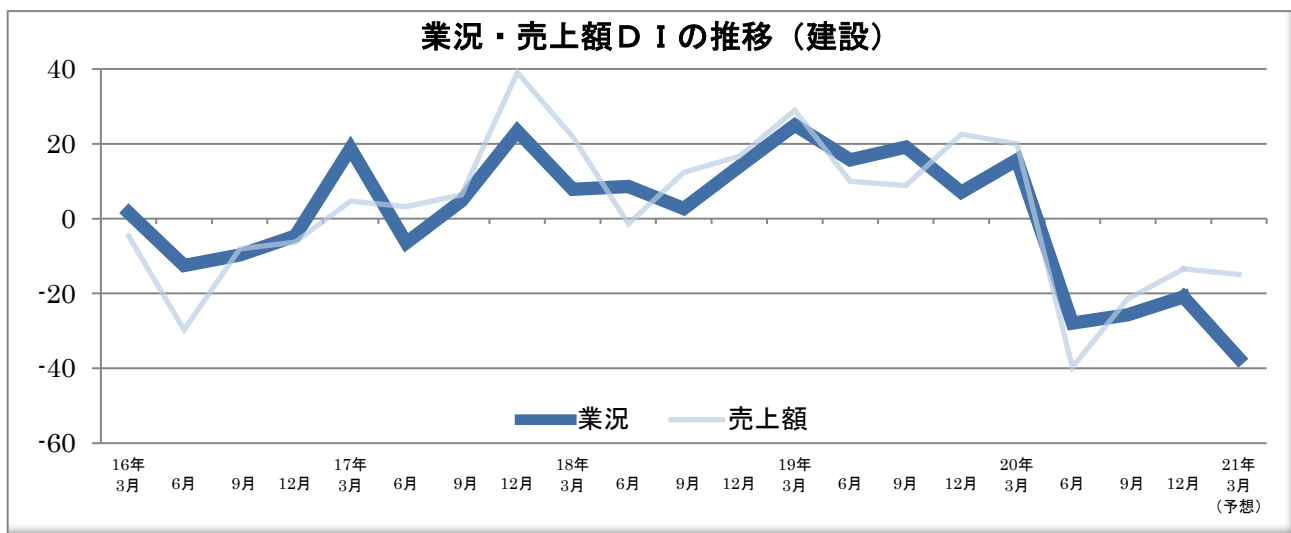
●10～12月期の景況

業況DIは4.8ポイント改善の-20.9となった。売上額DIは8.0ポイントの改善、受注残DIは5.1ポイントの悪化、収益DIは8.0ポイントの改善となった。

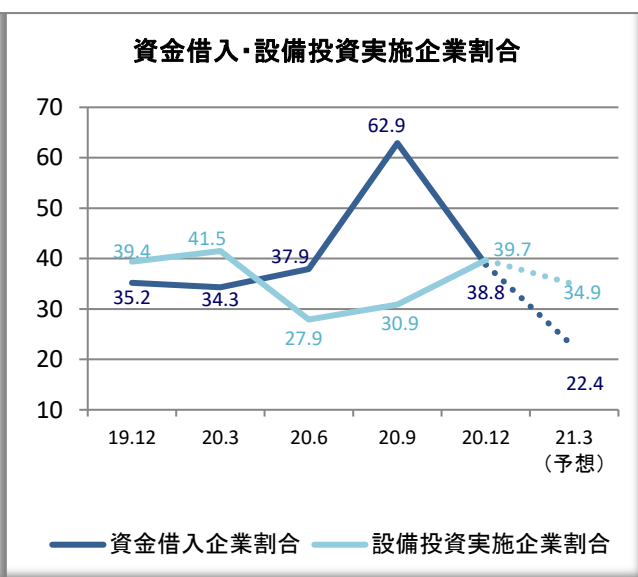
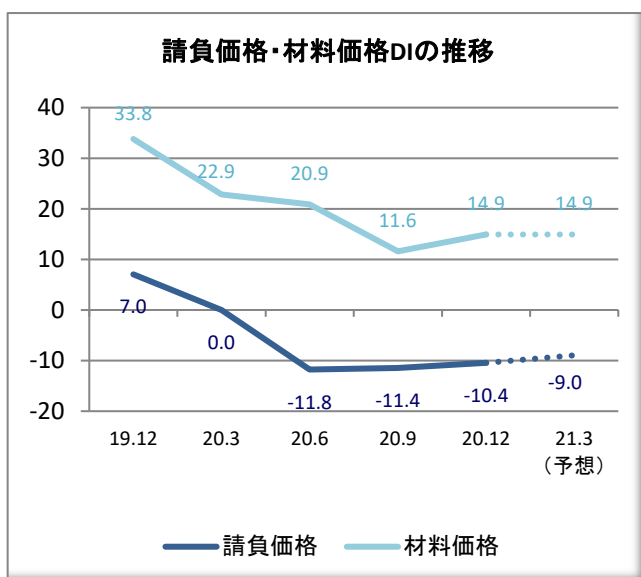
調査員のコメントをみると、コロナ禍ではあるが、官公庁や民間工事が回復または安定的に推移していることがうかがえる。また、人手DIもマイナスのままであり、引続き人手不足が課題となっている。新型コロナウイルス第3波の影響もあり、来年以降の新規受注は薄い状況となっているといった声も多い。

●1～3月期の景況予想

次回の業況DIは、16.4ポイント悪化の-37.3となる。売上額DIは1.5ポイントの悪化、受注残DIは13.4ポイントの悪化、収益DIは7.5ポイントの悪化を見込む。



| 建設業 | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | 8.6 | 2.7 | 13.9 | 25.0 | 15.7 | 19.1 | 7.0 | 15.7 | -27.9 | -25.7 | -20.9 | -37.3 |
| 売上額 | 増加-減少 | -1.4 | 12.3 | 16.7 | 29.0 | 10.0 | 8.8 | 22.5 | 20.0 | -39.7 | -21.4 | -13.4 | -14.9 |
| 受注残 | 増加-減少 | 0.0 | 13.7 | 22.2 | 29.0 | 15.7 | 2.9 | 30.0 | 4.3 | -41.2 | -14.3 | -19.4 | -32.8 |
| 施工高 | 増加-減少 | 4.3 | 6.8 | 18.1 | 29.0 | 4.3 | 14.7 | 14.1 | 17.1 | -38.2 | -24.3 | -6.0 | -26.9 |
| 収益 | 増加-減少 | 7.1 | 4.1 | 13.9 | 23.2 | -1.4 | -2.9 | 9.9 | 8.6 | -39.7 | -21.4 | -13.4 | -20.9 |
| 請負価格 | 上昇-下降 | 1.4 | 1.4 | 5.6 | 8.7 | 4.3 | 4.4 | 7.0 | 0.0 | -11.8 | -11.4 | -10.4 | -9.0 |
| 材料価格 | 上昇-下降 | 27.1 | 30.1 | 44.4 | 36.2 | 42.9 | 22.1 | 33.8 | 22.9 | 20.9 | 11.6 | 14.9 | 14.9 |
| 在庫 | 過剰-不足 | -1.5 | -4.1 | 4.2 | 1.4 | 5.7 | -5.9 | -1.4 | -2.9 | -1.5 | -7.1 | -7.5 | -7.5 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | -1.4 | -1.4 | 2.8 | 8.7 | 5.7 | 13.2 | 5.6 | -1.4 | -10.3 | -1.4 | -4.5 | -7.5 |
| 残業時間 | 増加-減少 | -2.9 | 0.0 | 5.6 | 24.6 | -1.4 | -1.5 | 4.2 | 8.6 | -33.8 | -18.6 | -3.0 | -13.4 |
| 人手 | 過剰-不足 | -38.6 | -38.4 | -41.7 | -50.7 | -43.5 | -42.6 | -50.0 | -60.0 | -27.9 | -41.4 | -39.4 | -43.3 |
| 設備 | 過剰-不足 | -2.9 | -4.2 | -9.9 | -3.0 | -4.3 | 1.5 | -7.1 | -1.5 | -1.5 | -8.7 | -10.6 | -10.8 |



調査員のコメントより

- ✓ 9月以降は、受注が回復傾向にあり、前年比10%増にて推移している。
- ✓ 年末工事も増えてきており、官公庁を中心に、受注は安定的に推移している。(同意見複数)
- ✓ 顧客満足度を高めており、コロナ禍でも相談人数は変わっていない。
- ✓ 新型コロナウイルスの影響はほとんどなく、順調に推移している。(同意見複数)
- ✓ 個人住宅建築をメインとしており、顧客からの受注状況は良好である。
- ✓ 前年同月と対比すると売上減少実績となっている。
- ✓ コロナ禍において、新規設備投資への意欲低下が、工事減少にも表れている。
- ✓ 徐々に受注が戻ってきているが、来年以降の新規受注は薄い状況となっている。(同意見複数)
- ✓ 人手不足の問題が急務である。
- ✓ 新型コロナウイルス第3波の影響を受け、今後については、売上減少も予想される。

テナントの撤退あるも、業況DIはやや改善

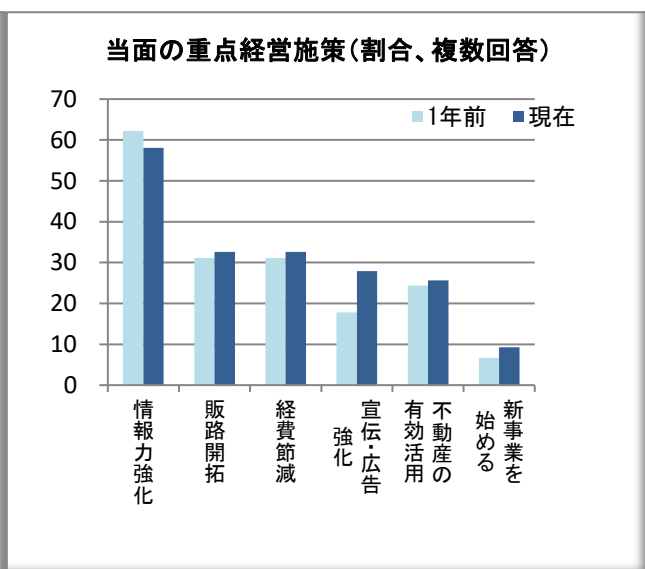
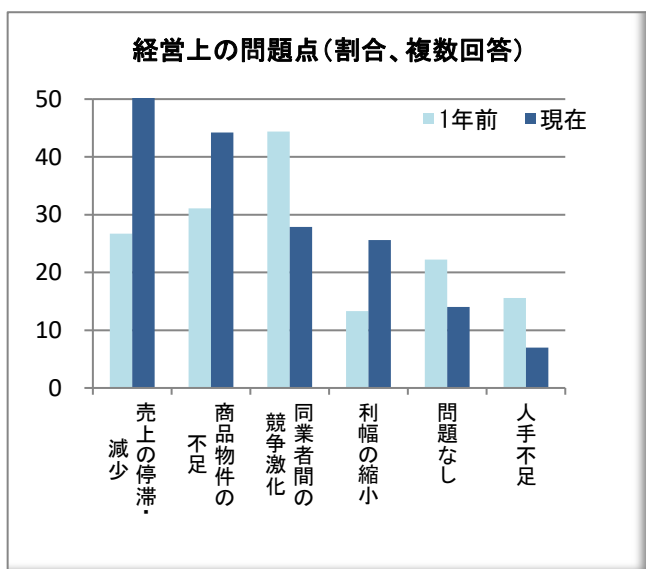
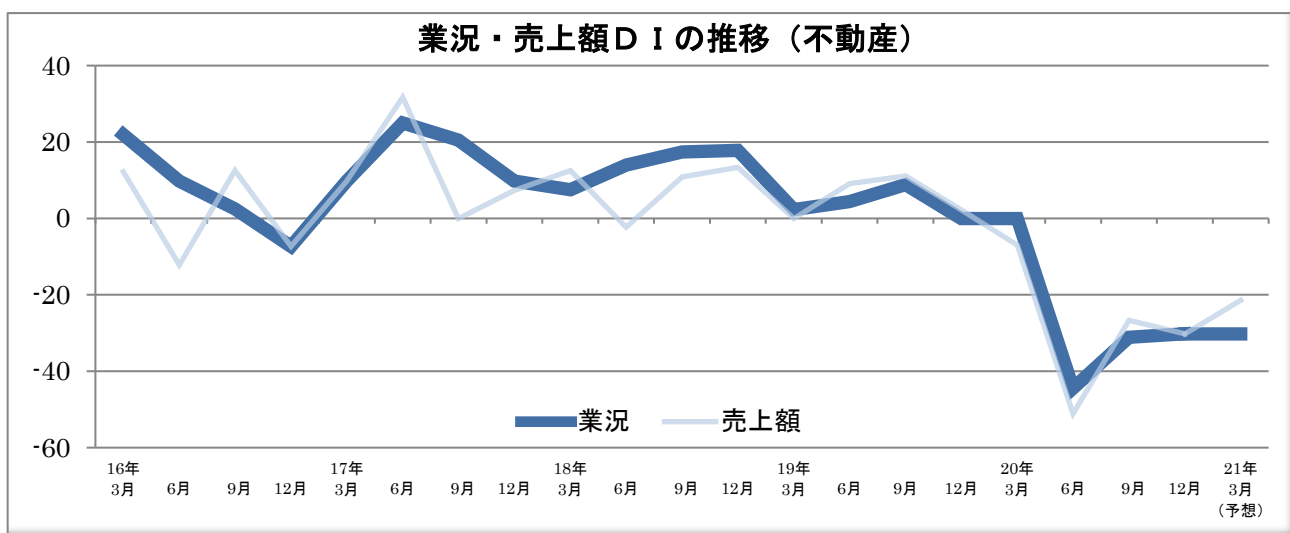
●10～12月期の景況

業況DIは0.9ポイント改善の-30.2であった。売上額DIは3.5ポイントの悪化、収益DIも5.8ポイントの悪化となった。

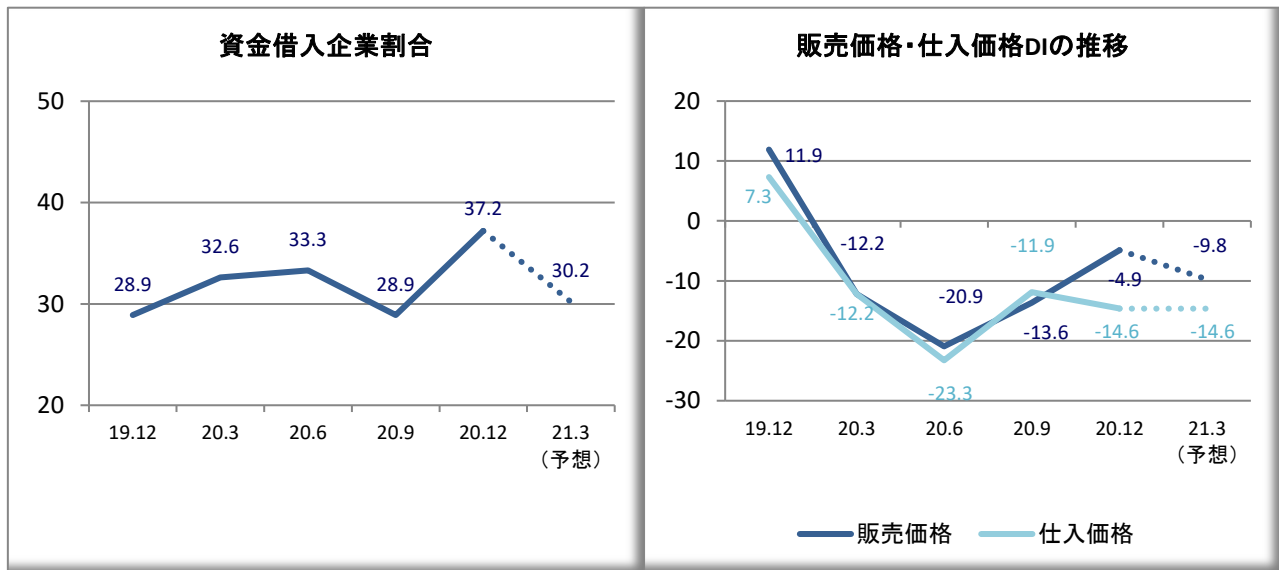
調査員のコメントをみると、コロナ禍ではあるが、不動産業は順調あるいは業況が上向いていることがうかがえる。一方で、前は家賃の引き下げ要請があったとのコメントが複数みられたが、今回はテナントの撤退等が多く、空き物件が増加しているとの声が多かった。

●1～3月期の景況予想

次回の業況DIは横ばいの-30.2となる。売上額DIは8.8ポイントの改善、収益DIも4.0ポイントの改善を見込む。



| 不動産業 | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | 14.0 | 17.4 | 17.8 | 2.3 | 4.4 | 8.9 | 0.0 | 0.0 | -44.4 | -31.1 | -30.2 | -30.2 |
| 売上額 | 増加-減少 | -2.3 | 10.9 | 13.3 | 0.0 | 9.1 | 11.1 | 2.2 | -7.0 | -51.1 | -26.7 | -30.2 | -21.4 |
| 収益 | 増加-減少 | -4.7 | 10.9 | 11.1 | -7.0 | 0.0 | 11.1 | 4.4 | -4.7 | -46.7 | -24.4 | -30.2 | -26.2 |
| 販売価格 | 上昇-下降 | 7.3 | 0.0 | 2.4 | -5.1 | 0.0 | 2.3 | 11.9 | -12.2 | -20.9 | -13.6 | -4.9 | -9.8 |
| 仕入価格 | 上昇-下降 | 5.0 | 4.9 | 7.5 | 2.8 | 7.1 | 2.4 | 7.3 | -12.2 | -23.3 | -11.9 | -14.6 | -14.6 |
| 在庫 | 過剰-不足 | -20.0 | -14.3 | -17.5 | -13.5 | -14.6 | -7.1 | -14.6 | -12.2 | 2.3 | -7.3 | -10.0 | -10.0 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | 0.0 | 4.3 | 6.8 | 7.1 | -6.8 | 8.9 | 6.7 | 4.7 | -31.1 | -15.6 | -11.6 | -18.6 |
| 残業時間 | 増加-減少 | 2.3 | 6.5 | -2.3 | 2.3 | 6.7 | -4.4 | 8.9 | 0.0 | -28.9 | -8.9 | -16.7 | -9.3 |
| 人手 | 過剰-不足 | -14.0 | -19.6 | -20.5 | -16.3 | -17.8 | -17.8 | -11.4 | -16.3 | -8.9 | -11.1 | -9.3 | -4.7 |



調査員のコメントより

- ✓ 自社のホームページに商品土地について載せたところ、問い合わせが増加している。
- ✓ 低価格物件の需要があり、仲介での売上は順調に推移している。
- ✓ コロナ禍ではあるが、不動産業は安定的に推移している。
- ✓ 新型コロナウイルスの影響は受けず、業況は上向いている。
- ✓ 地元で根差した営業をしており、毎期安定的に推移している。
- ✓ 新型コロナウイルスの影響により、不動産売買の動きが鈍くなっている。
- ✓ 新型コロナウイルスの影響により、利用顧客が減少した。
- ✓ テナントの撤退等が多く、空き物件が増加している。(同意見複数)
- ✓ 家賃の引き下げ対応等で、売上の減少が続いている。
- ✓ コロナ禍により、不動産購入意欲が低下し、案件が少なくなっている。
- ✓ 人材確保、人手不足が課題となっている。

Go To 効果で、業況DIは小幅改善

●10～12月期の景況

業況DIは4.5ポイント改善の-59.1となった。売上額DIは36.4ポイントの悪化、収益DIも31.8ポイントの悪化となった。

調査員のコメントをみると、Go To トラベル、Go To イートにより売上が多少戻ってきていることがうかがえる。しかしながら、クラスターの発生や新型コロナウイルス第3波によりキャンセルが発生し、年末年始のかき入れ時に水を差す形となっている。

また、客室稼働率も前年対比でまだ半分の水準であり、中心市街地での飲食店の閉店や休業も増えてきている。さらに、Go To トラベルの一斉停止の影響も懸念される。

●1～3月期の景況予想

次回の業況DIは横ばいの-59.1となる。売上額DIは横ばい、収益DIは9.1ポイントの悪化を見込む。

| 飲食・宿泊・レジャー | | 18.6 | 18.9 | 18.12 | 19.3 | 19.6 | 19.9 | 19.12 | 20.3 | 20.6 | 20.9 | 20.12 | 21.3 (予想) |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 業況 | 良い-悪い | -5.3 | -35.7 | -15.4 | 0.0 | 10.5 | 9.5 | -20.0 | -9.5 | -85.7 | -63.6 | -59.1 | -59.1 |
| 売上額 | 増加-減少 | 5.3 | -21.4 | -23.1 | -28.0 | 31.6 | -4.8 | 15.0 | -33.3 | -81.0 | 0.0 | -36.4 | -36.4 |
| 収益 | 増加-減少 | -10.5 | -21.4 | -23.1 | -41.7 | 15.8 | -28.6 | 5.0 | -52.4 | -81.0 | 0.0 | -31.8 | -40.9 |
| 料金価格 | 上昇-下降 | 10.5 | 7.1 | 23.1 | 4.0 | 5.3 | 14.3 | 10.0 | 0.0 | -19.0 | 0.0 | 4.5 | -4.5 |
| 材料価格 | 上昇-下降 | 26.3 | 14.3 | 30.8 | 40.0 | 21.1 | 38.1 | 30.0 | 28.6 | 4.8 | 13.6 | 9.1 | 4.5 |
| 資金繰り | 楽-苦しい | -10.5 | -35.7 | -23.1 | -16.0 | -21.1 | -9.5 | -20.0 | -23.8 | -81.0 | -45.5 | -31.8 | -45.5 |
| 残業時間 | 増加-減少 | 0.0 | -7.1 | -7.7 | 0.0 | 21.1 | -4.8 | 10.0 | -9.5 | -71.4 | -50.0 | -45.5 | -45.5 |
| 人手 | 過剰-不足 | -42.1 | -42.9 | -7.7 | -36.0 | -26.3 | -33.3 | -30.0 | -19.0 | 38.1 | 18.2 | 18.2 | 9.1 |
| 設備 | 過剰-不足 | -21.1 | -14.3 | -23.1 | -28.0 | -10.5 | -19.0 | -15.0 | -19.0 | 0.0 | -4.5 | 0.0 | 4.8 |

調査員のコメントより

- ✓ Go To トラベルにより、週末、休前日を中心に売上が回復してきている。(宿泊)
- ✓ 屋外レジャーに人気が集まり、売上は増加傾向にある。(レジャー)
- ✓ Go To イートなどにより、一時的ではあるが売上は戻ってきた。(飲食)
- ✓ 客室稼働率は今年の半分の水準で推移している。(宿泊)
- ✓ 飲食・宿泊など他業種に比べれば、新型コロナウイルスの影響は少ない。(レジャー)
- ✓ 団体旅行については、クラスター発生の影響が大きく、キャンセルが多発している。(宿泊)
- ✓ お客様が戻りつつあったが、新型コロナウイルス第3波の影響により、売上が再び減少した。(飲食)
- ✓ コロナ禍の影響を大きく受ける業種であり、回復の目途は立っていない。(旅行)
- ✓ 年末年始に向けて団体の予約が入る時期だが、今年は予約が少なく厳しい状況が続いている。(飲食)
- ✓ テイクアウト等にも力を入れているが、宴会、法事等は相変わらず低調である。(飲食)